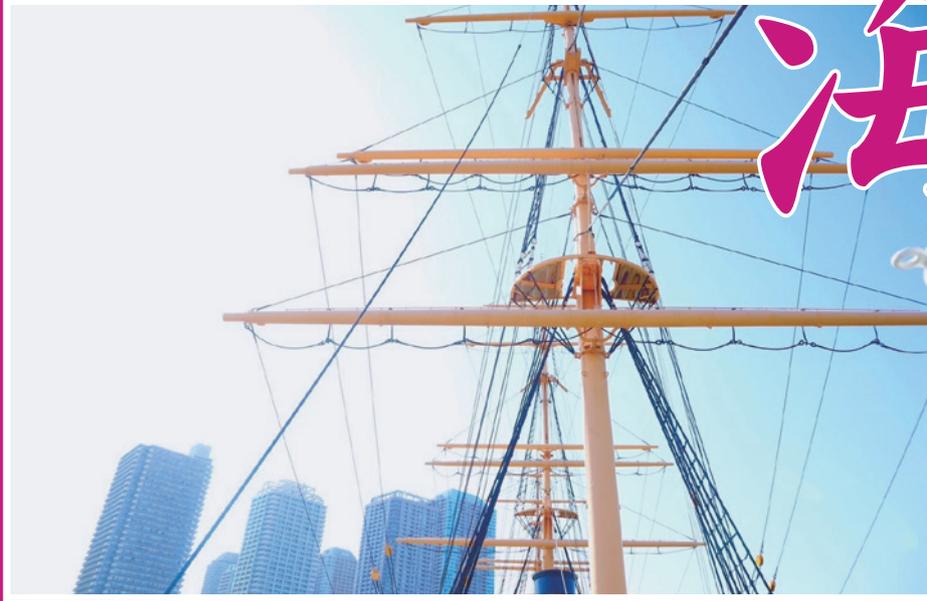


vol.42 july. 2024



# 拓海

「海」を切り開く匠の業と心

## CONTENTS

2024年 出会い	
入学特集	
入学・進学のみなさんへ	3
在学生から新入生のみなさんへ	7
先輩留学生から新入生のみなさんへ	11
大学での学び方	12
卒業生より 業界で活躍しているOB・OGの方々	18
新任教員の紹介	20
学生会報告書	24
大学祭特集 海王祭の紹介	25
ニュース&トピックス	26
就職情報	28
学生相談室からのお知らせ	32
お知らせ	35

## ◆2024年 出会い

## ■入学特集

## ◎入学・進学のみなさんへ

学修者本位の学修	井関 俊夫…… 3
入学・進学の皆さんへ	後藤 直宏…… 4
入学・進学のみなさんへ	元田 慎一…… 5
新しい扉を開けよう	宮本 佳則…… 6
百年目の「畏れる所無し」	兵藤 哲朗…… 6

## ◎在学生から新入生のみなさんへ

充実した学生生活に向けて	川村幸ノ介…… 7
自らアクションを起こそう	上田 佳奈…… 8
新入生の皆様へ	内藤 彩…… 8
新入生の皆さんへ	古内 彬…… 9
新入生よ、海洋大生たれ	小島 丸輝…… 9
挑戦すること	下迫 楓芽…… 10
新入生の皆さんへ	飯泉 慧大…… 10

## ◎先輩留学生から新入生のみなさんへ

先輩留学生から新入生へ	楊 若 飛…… 11
-------------	------------

## ■大学での学び方

## ◎学科の特色ある講義・実験の紹介

流通情報工学実験	麻生 敏正…… 12
フレッシュマンセミナー (海洋環境科学科, 海洋資源エネルギー学科)	鈴木 直樹…… 13

## ◎実習感想記

実習感想記	中岡 萌…… 14
コロナ明けの待ちに待った実習	花井 雅治…… 14

## ◎資格取得に向けて

漕ぎ出せ、世界の海へ!	沖田 彩織…… 15
-------------	------------

## ◎大学院で学べること

海洋資源環境学専攻	片岡 桜…… 16
応用生命科学専攻	芝 美咲…… 16

## ◎卒業論文・修士論文への取り組み方

卒業論文の取り組み方	岸本 将光…… 17
修士論文への取り組み方	婁 威…… 17

## ■業界で活躍しているOB・OGの方々

海から川、山へ	澤田 尚毅…… 18
大学での学びを仕事へ	川村 大和…… 19

## ■新任教員の紹介

海洋生物資源学部門	董 書 闢…… 20
海洋生物資源学部門	堀之内祐介…… 20

海洋生物資源学部門	松本 萌…… 21
食品生産科学部門	中村 綾花…… 21
流通情報工学部門	松井 一徳…… 21
海洋資源エネルギー学部門	高橋 圭太…… 22
海洋資源エネルギー学部門	浅井 咲樹…… 22
海の研究戦略マネジメント機構	浪川 珠乃…… 22
海の研究戦略マネジメント機構	永井 幸枝…… 23
水圏生殖工学研究所	林 誠…… 23

## ■学生会報告書

海洋工学部学生会	…… 24
----------	-------

## ■大学祭特集

海王祭の紹介	飯泉 慧大…… 25
--------	------------

## ■ニュース&amp;トピックス

- 令和5年度3月期学生表彰授与式、  
学業優秀学生奨学金授与式、  
学会等各賞表彰式を行いました …… 26
- 令和5年度3月期学位記・修了証書授与式を  
挙行しました …… 27
- 令和6年度入学式を挙行しました …… 27

## ■就職情報

令和5年度卒業者の就職先	…… 28
--------------	-------

## ■学生相談室からのお知らせ

- 学生相談室について …… 32
- 令和6年度学生支援教員 …… 33
- 本学の学生相談体制について …… 34

## ■お知らせ

- 海外派遣プログラムに参加してみませんか?  
…… 35
- 国立科学博物館および  
国立美術館の利用について …… 36
- 東京海洋大学 公式X (旧Twitter) を  
開設しました …… 36
- 緊急時連絡システムについて …… 37
- ネットワーク障害防止のための注意事項 …… 39
- 東京海洋大学校友会のご案内 …… 41
- 掲示板 …… 42

2024年 出会い

## 入学特集

# 入学・進学のみなさんへ

### 学修者本位の学修

学 長  
井 関 俊 夫

新学期になって3ヶ月ほど経ちました。今年から始まった4学期制では第1クォーターが終了した頃だと思っています。2年生以上の皆さんは授業時間が15分長くなったこと、1時間目の授業開始時刻が早くなったことに多少慣れないところがあったと思います。しかしながら、4学期制にはこれまでの2学期制には無かったメリットがあることを知っておいて欲しいと思います。例えば、講義を短期間で集中して履修できたり、計画的に単位を修得すれば、海外留学や長期インターンシップに行きやすい学期（ギャップターム）を設定できたりします。長くなった夏休みと「ギャップターム」をうまく組み合わせれば、海外の大学のサマースクール等に参加しやすくなります。ご存知のように、本学ではグローバル教育を積極的に推進しています。全学生を対象とした「交換留学」の他、学部学生を対象とした「海外探検隊」や各学部が行っている海外派遣プログラム、大学院生を対象とした「OQEANOUS Plus」など、種々の海外派遣プログラムを実施しています。特に、大学院でのOQEANOUS Plusプログラムは、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」の中間評価で最高の「S評価」を受けています。昨年度はコロナ禍の影響もほぼなくなり、合計87名の学生が海外留学や海外インターンシップを経験しました。派遣先国別の延べ人数ではタイ21名、シンガポール及びフィリピンが各10名、韓国、ノルウェー及びベトナムが各8名、セントルシア7名、フランス6名、中国3名、カナダ、アイスランド、デンマーク、ドイツ、スペイン及びマレーシアが各1名という結



果になっています。文化的背景が異なっても、英会話に自信が無くても、学問的背景には共通する部分があるので、学生生活や研究活動に関するコミュニケーションには熱が入ります。皆さんも是非、4学期制のメリットを最大限利用して、海外留学や長期インターンシップ等の学外学修に挑戦して欲しいと思います。詳細については「東京海洋大学グローバル人材育成プログラム」をネットで検索するか、下記QRコードからパンフレットを参照してみてください。先輩の体験談も大変参考になると思います。また、パンフレットには留学情報SNSのQRコー

ども掲載されていますので、具体的に検討したい人は登録してみてください。

ところで、上述の「ギャップターム」という言葉は欧州の「ギャップイヤー」を基にした和製英語のようです。元々の「ギャップイヤー」では、大学入学資格を得た18～25歳の若者が大学への入学時期を遅らせ、様々な社会体験をすることによって、自分の将来像を明確にすることを目的としているようです。いわゆる「自分探し」のための期間と言えそうです。「ギャップイヤー」を経験して自分の学修目的が明確になれば、大学で学ぶ内容もしっかりと身に付くと思います。一般に、大学でのカリキュラムは専門科目と教養基礎科目を緻密に組み合わせられていますが、そこから身に付けた知識を用いて、社会で何をやるかは皆さん自身が決めなければなりません。多くの場合、就職活動を通して考えることになるのかもしれませんが、入社3年以内の離職率が3割であるとか、退職代行サービスの利用が急増しているなど、心配な報道が最近目につきます。「ギャップターム」等を利用して、日常とは違う環境に自分を置き、自分は何者なのか、何をしたいのかをじっくりと考える期間が必要なかもしれません。

4 私たちは成りたい自分を思い描くことができます。そして、そこに到達するために何を学ぶべきかを選択することもできます。人間は成功だけではなく、失敗からも学んで、真理に一步ずつ近づくことができます。そのように考えると、準備された大量のデータをひたすら飲み込む「AIの学習」と「人間の学修」は根本的に異なっていて、シンギュラリティはそう簡単にやって来るとは思えません。自ら進んで「学修」する人間の強さを、私は皆さんに証明して欲しいと思っています。



グローバル人材育成プログラムパンフレット

## 入学・進学 of 皆さんへ

海洋生命科学部長  
後藤直宏



東京海洋大学への入学・進学、おめでとうございます。これから新たな一歩を踏み出すこの瞬間に、皆様の未来がより輝かしいものとなることを祈っています。

大学生活は、知識を深め、スキルを磨き、友情を育む貴重な時期だと思います。東京海洋大学で水産や海洋を基礎とした多岐にわたる基礎・専門分野を大いに学び、皆様の人生における貴重な財産を手にしてください。そのためには、大学生としての心構えが重要だと思います。まずは目標を持ち、それに向かって努力し続けることが何より重要です。失敗や困難に直面しても、諦めずに前進し、自己成長を果たしてください。校歌の歌詞の中に「好きなことを好きなだけ学べることは 倅せ者だよ それが出来るのは 現在(いま)」と記されていますが、大学生活で大切なのはまさにこの歌詞に記されていることなのです。どうか常に好奇心を持ち、新しいことに挑戦する姿勢を忘れず、そのようなことが出来ている現在(いま)を倅せに感じてください。

また、大学生活は単なる学問の場にとどまらず、人間形成の場でもあります。多様な文化や考え方に触れ、対話し、議論することで、自己理解を深め、社会への貢献の意識を高めてください。きっとその過程で築かれる友情や人間関係が一生の宝となるでしょう。

その一方で自己責任という言葉も忘れないようお願いいたします。好きなことを好きなだけやるのは大切ですが、自分が考えたことや実施したことには責任が伴ってくることも知って欲しいと思います。「自由」の裏側には「責任」があることを大学生活の中で理解していただければと思います。

最後に、社会へ飛び立つ準備の場としての大学生活の意義を心に留めておいてください。東京海洋大学での学びは、あなたが将来に向かって羽ばたくための強固な翼となることでしょう。その翼を大切に育て、未来への飛躍を果たしてください。成功を信じ、自らの道を切り拓いていただければと思います。

## 入学・進学のみなさんへ



海洋工学部長  
元 田 慎 一

学部・大学院へご入学のみなさん、おめでとうございます。みなさんは大学や大学院の生活をスムーズにスタート出来たでしょうか。今年の年初から続いた震災や大きな事故などで、決して日常が当たり前ではないことを知ったと思います。日本以外でも世界を見まわすとウクライナやパレスチナの戦争をはじめ、とても安定な世界とは言えない日々が続いています。これは技術革新の世界でも同じことで、ChatGPTをはじめとする生成AIの出現、ドローン技術の進展など、少し前まではまだ先だと思われていた技術が、今、我々の前に現れています。その一方で、自動車は2025年に電気自動車の販売が半分を占めるとされてきましたが、昨年から販売に急ブレーキがかかり、電気自動車が主になる世界はまだ先ようです。さらにクルマの世界では自動運転化も現在のレベル2（特定条件での自動運転）からレベル3（高速道路等での自動運転）への移行が遅れていると言われています。このように予想された未来が想定通りに行かず、社会の方向性が急変することが身近なところで起こっている

のです。さて、そういう技術革新が急激に進む世の中にあつてみなさんが大学や大学院に入学する価値はどこにあるのでしょうか？海洋工学部のオリエンテーションでもお話ししましたが、私は、いつも新入生に大学に来た価値は何か？、と問います。答えは人それぞれあると思いますが、その一つに「多様性（Diversity）を知ること」があるのではないのでしょうか。大学には高校までの偏差値という評価方法はありません。成績評価にGPAがありますが、それだけで良いという事ありません。いろいろな能力、得意分野、文化を持った友人、先輩・後輩、留学生、そして先生と交流し学ぶことで、不確定な社会を渡っていく能力を養えられることが、大学に来るメリットとだと思います。想定外に対応できる能力を学生時代に準備することが、みなさんの人生を切り開く力になると私は確信しています。

今後、どのような社会状況なってもプレッシャーに負けずに切り開いていける能力を本学で身に着けて欲しいと思うのです。我々教員もみなさんをサポートしますので一緒に学んで行きましょう。みなさんひとりひとりに実りある大学生活となることを心から祈念いたします。



## 新しい扉を開けよう



海洋資源環境学部長  
宮本佳則

入学おめでとうございます。桜が満開の時期に入学式が行われ、皆さんの入学を一層華やかに盛り立てていたと感じました。大学生としての新生活がスタートして、気持ちが高まっている人もいれば、自主的に行わなければならないことが多くてびっくりしている人もいます。まずは、大学生としての新しい扉が開いたばかりですので、焦らず、舞い上がらず、じっくりと歩み始めてください。

新型コロナウイルスが治ったかと思えば、地震や円安など、どうしようとも抗えないことが起きている時代です。私はバブル期に入る直前で大学生となり、周りが目まぐるしく変化し浮かれている様子を、なんとなく指を咥えて見ていたと記憶しています。自分自身が大学での4年間をどのように過ごすのかを明確には持っていませんでした。しかし、大学の授業や実習・実験が妙に面白かったことは覚えています。特に海洋・水産に関する授業は、高校などでよほど積極的に学ばない限り知ることができない、未知の世界を知る礎になっています。海洋・水産に関わる知識の範囲は広大で、その全て学び、知ることは無理ですが、自身が入学した学部・学科の専門を深めることから知識としての“学び”を得られると思います。

そして、たくさんの友人、先輩、そして後輩との交流を行なってください。コロナ禍で孤立していた際にも、SNSなどで交流はあったかと思いますが、これからは対面で直接話すことを実践してください。大学デビューなどと言われることがあるかもしれませんが、大学は日本全国から学生が集まりますし、海外からも学生が集う場所です。これまでの狭い世界から飛び出しましょう。デジタルではなく、アナログで接することは、何事にも変え難い経験となると私は信じています。さあ新しい扉を開けて羽ばたいてください。



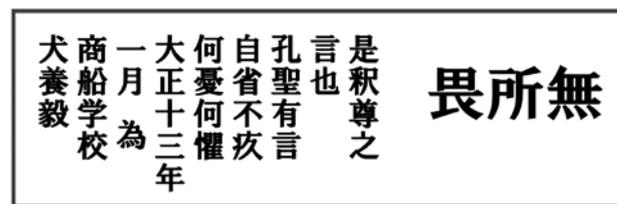
## 百年目の「畏れる所無し」



大学院海洋科学技術研究科長  
兵藤哲朗

大学院に進学または入学された皆さん、授業も始まり、研究室におけるゼミや活発な議論など、充実した日々をお過ごしのことと思います。

さて、越中島キャンパスの某会議室に以下の書が掲げられています。今回はその解題を紹介しましょう。



これは犬養毅の、数え年70歳の時の揮毫です。もちろん右から読むのですが、最初の「畏れる所無し」は「むしょい」と読む、釈尊（ブツダ）の言葉です。この揮毫が興味深いのは、続いて『論語』顔淵編を出典とする言葉が続くことでしょうか。「孔聖」こと孔子の言葉で、「内に省（かへり）みて疚（やま）しからずんば、夫れ何をか憂へ何をか懼（おそ）れん」と読みます。つまり、「自分自身の心に疚（やま）さがなければ心配することはない、大いにチャレンジしよう、恐れることはない」とのメッセージですね。「畏れ」と「懼れ」の共和が妙味です。皆さんも、大学院に進学し、指導教員と一緒に様々なResearch Questionを立てながら新しい研究生生活を開始したところでしょう。研究者として既成概念にとらわれない（疚しくない）態度で、失敗を恐れずに積極的に挑戦を続ける皆さんへの励ましの言葉と解釈できます。解題の続きですが、「大正十三年」は1924年で、これが本稿のタイトルになっています。「為」は「為書き」と読み、「商船学校（東京商船大学）のために」と解釈します。

犬養毅は1932年の五・一五事件で軍の凶弾に斃れますが、本校に遺した、ちょうど100年前のこの言葉、今でも色褪せることはないと感じます。研究もprivateも、畏れることなく挑戦してください。

Bon voyage !



2024年 出会い

## 入学特集

在學生から

# 新入生のみなさんへ

### 充実した学生生活に向けて

海洋生命科学部 海洋政策文化学科4年

川村 幸ノ介

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。そろそろ大学生活に慣れてきた頃でしょうか。私から伝えたいことは「計画的に」・「人との繋がりを大切に」ということです。

私自身、勉強においても課外活動においても「計画的に」取り組むことが重要だと実感しました。1・2年生ではできるだけ多くの単位を取り、3年生で単位を取り切れることを目標に時間割を計画しました。そして3年生になってからボランティア活動などの課外活動に力を入れました。実際は計画通りにいかないことばかりでした。楽しみにしていた実習ができないことや思ったような学生生活を送れないこともありましたが、しかしあらかじめ学生生活の目標や計画を決めておくことが自らの進む方向を決める指針となり、学生生活の大きな助けとなりました。



部活動において（筆者：上段中央左）

した。

また大学生活では人との繋がりを強く感じました。サークルや部活動の先輩など年上の方々と繋がりはもちろんですが、同期や後輩との繋がりの大切さを身をもって感じました。履修登録や初めてのことは先輩方に聞き、課題やテスト期間では同期の人と協力しました。その経験を後輩に伝えることで後輩との交流も生まれ、いつもとは違う視点、経験を体感しました。この多くの人と触れ合い、交流し、新たな世界に飛び出せることも大学生活の醍醐味だと思います。

新入生の皆様が何事にも恐れずに「計画的に」・「人との繋がりを大切に」充実した大学生活を送ることを願っています。



## 自らアクションを起こそう

海洋工学部 海事システム工学科3年

上田 佳奈

新入生の皆さんも、様々な大学生活を思い描いて、東京海洋大学に入学されたことと思います。私は海外に行きたいという思いから、航海士を目指して本学に入学しました。そしてこの2年間は、大学の勉強に加え、留学や興味のあることに挑戦してきました。ここで、私が取り組んだ2つのことをご紹介します。

まず、1年生の春休みに参加した本学グローバル教育研究機構のプログラムである海外探検隊です。品川キャンパスの先輩方と、1ヵ月間シンガポールで水産業と海洋の環境問題について勉強してきました。現地でお会いした研究者、学生、企業の方々、一緒に渡航した先輩方との活動を通して、多くの刺激をいただき、帰国後の新しい目標ができました。

次に、2年生の春休みに参加した、つくば市にある国立研究開発法人 物質・材料研究機構 (NIMS) での1ヵ月間のインターンシップです。授業で触れた船体塗料の話きっかけに、金属の防食や耐食性に興味を持ち、個人的に応募して参加しました。ここでの体験は、この分野全体のほんの一部ですが、非常に楽しく充実していて、今後の進路に向けて新しい選択肢となりました。

自らの興味で起こしたアクションの先に、思いがけない新たな選択肢や目標を見出した時には、自分の思いに素直でありたいと思っています。皆さんも是非、興味のあることに出会ったら、まずはアクションを起こして欲しいと思っています。私自身も、このような体験を通して自分自身の価値観が変わってきました。そして、新しい価値観から、次のアクションが生まれると思っています。大海原のように広く深い海洋学の諸分野で様々なアクションを起こして、たくさんの人に出会って、様々な体験してみてください。皆さんの大学生活が充実したものになるよう、応援しています。



第20期海外探検隊・シンガポール隊 (右から5番目が筆者)

## 新入生の皆様へ

海洋科学技術研究科 食機能保全科学専攻2年

内藤 彩

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

大学生はよく「人生の夏休み」と表現されますが、その「夏休み」をどう過ごすかで、今後の人生が大きく変わると 생각합니다。私からは、そんな大学生活の一例をお伝えできればと思います。

私は大学1年生の夏に本校の短期留学プログラムである海外探検隊に参加させていただき、ベトナムに1ヶ月間滞在しました。入学早々の派遣で、研究知識がなかったので、現地で学ぶことが多く、非常に刺激的な1ヶ月間でした。さらには、現地学生の学習意欲の高さやホスピタリティに感銘を受け、自身の将来像として良い影響を受けたと思います。

大学院1年生では、トルコからの留学生のチューターとして、英語で様々なサポートを行いました。日本での滞在に必要な公的手続きなど普通の生活ではあまり触れてこなかったところまで手伝いをし、貴重な経験となりました。

さらに、研究発表の場として、タイにて行われたシンポジウムにも参加致しました。他国の学生の生き生きしたプレゼンに感動しました。異文化交流もでき、たくさんの友達ができました。

このようにたくさんの海外経験が出来たのは、自分の意思をよく周りに伝え、一歩踏み出す勇気を出せたからだと思っています。(研究室では特に海外志向を伝えておくと、国際学会などのお声をかけて下さることが多いです。)

皆様も、色々なことに挑戦する勇気を持って、全力で大学生を謳歌して下さい。



タイでのシンポジウム (前列左から4番目が筆者)

## 新入生の皆さんへ

品川キャンパス自治委員会  
海洋資源環境学部 海洋環境科学科2年

古内 彬

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

品川キャンパス自治委員会委員長の古内です。

入学してしばらく経ち、皆さんも大学の生活には慣れてきたでしょうか。

なかには、新鮮なことが多く、早く過ぎ去ってしまう時間に焦る人もいるかもしれません。私は一年生の皆さんに新しいことに挑戦していくことをお勧めします。

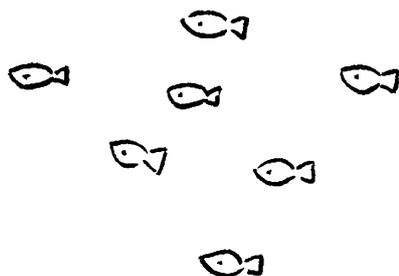
サークルの勧誘活動や入学当時の忙しい雰囲気は薄まってきた今でもまだまだ遅くはありません。サークルや友人、アルバイトなど、その後の大学生活の大部分は一年生の内に形作られます。もちろん、今まで習ったことのない好きな分野の勉強を進めることや、気になる科目を低年次履修してみるのも大いに有意義だと思います。進学、卒業に必要な要件の履修科目に拘らず、学びの幅を広げていきましょう。

大学生の内にしかできないことは沢山あります。

学内、学外、学業、趣味を問わず色々なことに取り組み、大学生活の内に多くの人と関わることが良い経験になると思います。そこでの人との関わりは今後の自分の進路を決める手助けや、悩みを解決する手掛かりになるかもしれません。

皆さまが大学で様々な人に出会い、多くの経験をし、後悔のない良い学生生活を行えることを期待しています。

どうしても新しいことを始める勇気がない、何を始めようか気が迷うという人は是非、自治委員会で一緒に仕事をしましょう。連絡、お待ちしております。



## 新入生よ、海洋大生たれ

海洋工学部学生会長  
海洋工学部 海洋電子機械工学科4年

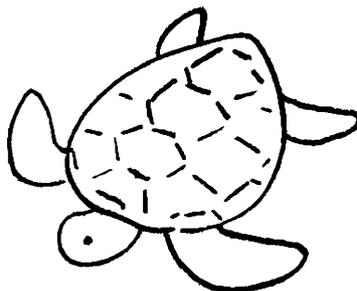
小島 丸輝

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！もう大学生活には慣れてきたでしょうか？数ある大学から海洋大を選んだ皆さん、受験の結果海洋大に流れ着いた皆さん、きっと様々な思いがあり海洋大生になったと思います。そんな皆さんはこれからどんどん海洋大に染まっています。たとえそれが本意でなくともそうなるでしょう。しかし、それは皆さんが人とは異なる感性、考え、生活を手にするということです。この変人への変化を楽しんでください。それでこそ海洋大生です。

さて、私はここで「変人」という言葉を使いましたが、もちろんいい意味ですよ？海洋大では良くも悪くもここできれない経験がたくさんあります。そんな経験を経て、仲間を作り、困難を乗り越え、海洋大生という変人が作られていくのです。皆さんも大学生活を通してかけがえのない仲間を作り、全力で楽しんでください。

ここまで読んでいただいた新入生の皆さんはもう少し海洋大生という変人になりたくなってきたのではないのでしょうか？長い人生の中で大学生でいられる時間は限られています。そんな貴重な大学生活を濃いものにするため、新入生の皆さんは変化を恐れず、挑戦してみてください。きっと立派な変人…海洋大生になっていくと思います。新入生の皆さんにとって、これからの大学生活が今後の人生という航海の中で座礁しそうなき、遭難しそうなき救命浮環となり、道しるべとなることを祈っています。

新入生よ、海洋大生たれ！！



## 挑戦すること

第65回海鷹祭実行委員会 委員長  
海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科3年

下 迫 楓 芽

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。第65回海鷹祭実行委員会の下迫楓芽と申します。

今回、みなさんに私がお伝えしたいことは、この大学生活、一つだけでいいので何かに挑戦して欲しいということです。

自分自身の後悔に基づいてお話させていただきますが、私は1・2年生の時、正直周りに流され、墮落した生活を送っていました。そして3年生になった今、自分が大学生活で得た経験値がほとんどないことに気づき、後悔しています。皆さんにはこのような後悔をしてほしくないと思うので強く思います。

そこで私は海鷹祭実行委員会の委員長を引き受けました。いままで人生でこのような立場になることはほとんどありませんでしたが、思い切って現在委員長という仕事に挑戦しています。まだまだ本番は遠く、仕事が本格的になってくるまでは時間があり日に日に自分にできるのかという不安を感じていますが、今まで見えなかった部分まで視野が広がったことの嬉しさや、仕事のハードさは刺激があってかなり楽しいと思っています。

ぜひ皆さんも大学生活は時間もあり、何にも縛られず自由度も高く、この海洋大には色々なことに挑戦できる環境が整っていると思うので、主体的に何か一つでいいので挑戦して欲しいと思います。皆さんの成功を心から祈っております。

貴重なお時間を割き、最後までお読みいただきありがとうございました。



昨年の海鷹祭にて

## 新入生の皆さんへ

第64回海王祭実行委員会委員長  
海洋工学部 海事システム工学科3年

飯 泉 慧 大

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。第64回海王祭実行委員会で委員長をしています海事システム工学科3年の飯泉慧大です。

入学式からしばらくたち、大学生活に慣れてきたころだと思います。さまざまな部活・サークルの新歓や体験会に参加して、たくさんの同期や先輩たちと出会い、交流したと思います。大学生の本分は勉強ですが、部活動での経験は勉強だけでは得られない非常に大切なものだと、私は思っています。その中でも多くの部活動がさまざまな形で参加する海王祭は、私たちが一年を通して心待ちにしている特別なイベントです。そして、学生以外にも地元の方々や東京海洋大学に興味のある中高生など多くの来場者を構内に招くため、越中島キャンパスがもっとも活気づく瞬間です。

64回目を数える海王祭ですが、本学と同じように歴史ある祭典です。コロナ禍により一旦途切れたとはいえ、数多くの先輩方により紡がれてきたこの学祭をこれからも引き継いでいくには、新入生の皆さんのご協力が必要です。よろしければ、実行委員会で海王祭を支えてみませんか。一緒に海王祭を盛り上げてくれる人、海王祭の運営に携わってみたいという人は大歓迎です。

最後に新入生の皆さん、ぜひ何らかの形で海王祭に参加してください。新たな友人との出会い、新しい経験の発見、そして共に楽しむ喜びが待っています。海王祭は私たちのキャンパスの魂を形作る重要なイベントの一つです。一緒に素晴らしい思い出を作りましょう！



第64回海王祭の様子

2024年 出会い

入学特集

先輩留学生から  
新入生のみなさんへ

先輩留学生から新入生へ

海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻3年

楊 若 飛

Dear New Students, Welcome to all of you! Whether you are here because of your love for the ocean or your fascination with Japanese culture, congratulations on starting this new chapter of your life at TUMSAT.

I arrived here through the JCK program in 2019 and have been studying here for nearly five years. I spent two years living in the dormitory on the Etchujima campus. The convenience of life and the vibrant atmosphere of Monzen-Nakacho and the bustling Toyosu area were unforgettable. I also lived in the dormitory on the Shinagawa campus for almost three years. The campus feels like an oasis amidst the skyscrapers of Shinagawa. When you leave the busy Shinagawa Station and enter the campus, you will feel incredibly relaxed. No matter where you live and study, TUMSAT provides an excellent environment. The on-campus dormitories allow you to fully focus on your studies and research. The nearby train stations offer the opportunity to explore Tokyo during your free time.

As a senior, it might be expected for me to offer study advice, but I find that too conventional. The ocean is free, and TUMSAT embodies that freedom. If I were to give any advice, I would say, "Go to the sea." TUMSAT has the most training ships I have ever seen, which is such a fortunate thing for marine researchers! The UMITAKA MARU is the largest and can even travel to Antarctica. The SHINYO MARU is

the second-largest training ship. If you come here through the JCK program, you will have the opportunity to spend a day on this ship in Tokyo Bay. The SHIOJI MARU, which I have yet to board, is said to have very large cabins for student learning. There is also the HIYODORI, a smaller ship used for flexible experiments. The teachers and crew on the training ships are very friendly and humorous. The time spent conducting experiments with them is something I will never forget. If you are not a JCK program student and your research plan does not include opportunities to go to sea, please pay close attention to course descriptions, as some courses may offer sea trips.

Additionally, if you are from China, do not miss out on the Chinese Students Association. It provides information, friends, and various exchange activities to help you adapt smoothly to life in Japan.

Finally, I sincerely wish you all the best in your studies and life at TUMSAT. May you achieve the results you hope for.



After the Master's graduation Ceremony in Etchujima Campus

# 学科の特色ある



## 講義・実験の紹介

### 流通情報工学実験

流通情報工学部門 准教授

麻生 敏正

流通情報工学科では、企業の国際的な物資・情報の流れを計画・管理するロジスティクスについて、少人数体制による理論と実践をともに重視した教育を行っています。ここでは2年生に開講している流通情報工学実験についてご紹介します。この授業の目的は、流通情報工学科に開設されている専門科目に関連した実験を行い、専門科目の理解を深めるとともに、実験の立案方法や結果の分析方法などについて、基礎となる手法や考え方を習得することです。履修者は、①荷役作業における作業者特性の把握、②自動認識技術を用いた貨物管理における作業効率性の評価、③流通に関するITアプリケーションの3テーマから2つ選びます。

私は③の実験を担当しています。この実験では、各班で、下図のデバイスを利用するアプリケーションを考え、

その性能を評価し、その実用性や課題について考察します。班ごとにアプリケーションが異なるため、実験方法や分析方法についても各班で考えます。アプリケーションを決める打ち合わせは白熱します。チームで生産的な議論をする楽しさや難しさを感じてもらっていると信じています。

どうして本学科でこのような実験をするのか疑問を持たれているかもしれません。現在、スマートウォッチやスマートグラスを始めとするウェアラブルデバイスは、簡単に購入することができます。また、開発環境も整備され、無料のソースコードもネット上に多数存在し、プログラミングができる人も珍しくありません。つまり、アプリケーション開発は容易になっています。しかし、コードが書けるからといって、実用的な業務システムが作れるわけではありません。一番大切なことは、業務を理解し、業務とITを結びつけたソリューションを考えることです。企業活動の多くは物流に関係するので、本学科の学生がこの実験を通じて、自身の強みを感じてもらえると嬉しいです。



実験機材



## フレッシュマンセミナー (海洋環境科学科, 海洋資源エネルギー学科)

海洋環境科学部門 教授  
鈴木直樹

本フレッシュマンセミナーは、専門的な科目を学ぶための動機付けの一環として、海に接して体験し、慣れることを目的としています。富浦ステーションでの臨海実習、学内でのプール実習、練習船体験乗船を行っています。ここでは、2023年度に実施した臨海実習の概要を紹介します。

漕艇では、ピンネスと呼ばれる小型艇を動かすための基本動作と船上での動作を習得します。オールを漕ぐ者、舵を操作する者、オールを漕ぐタイミングなどを指示する者、全員の息が合った時はじめて、ピンネスがスムーズに進むことを体感できます。

着衣泳では、水難における「自己保全技術」と呼ばれる水面での呼吸維持や移動法などを、平時に着衣状態で反復練習することにより、自身を水難から守る技術を習得します。この練習を通じて、船上、水辺や海中で活動する際の安全管理の重要性も理解できるでしょう。

水質分析では、海洋環境の化学的側面を学ぶ初歩とし

て、身近な水圏環境の水質の比較分析を行います。この課業では、品川キャンパス付近と富浦ステーション付近の海水を化学的方法と光学的方法により測定します。

地質調査では、地質調査の基礎であるルートマップを作成します。私たちの足下にどういった物質（岩石）がどのように分布するか調べる地質調査は地質学における最も基本的な作業の一つです。

海洋観測では、「ひよどり」に乗船し、海洋観測の基礎、観測機器の取扱方法、甲板作業時の安全確保方法を習得します。観測とは、壮大なる海を実験室とした一期一会の活動であることの一部を知ることができるでしょう。

生物調査では、海洋に生息する生物や海洋生態系に関する発見の初歩として、シラス漁業の漁獲物（乾燥標本）を用いた生物観察を行います。この観察を通じて、海には多くの種類の生物がいることを理解し、生物と人との関わり、地球規模の変化がもたらす海洋生物の変化について実感できるでしょう。



# 実習感想記



## 実習感想記

海洋生命科学部 食品生産科学科4年

中岡 萌

食品生産科学科では、1年生と3年生の夏休みに泊まりでの実習があります。例年、1年生の実習ではニジマスの燻製を作り、3年生の実習では一から魚の缶詰めやカレーを製造します。私たちの代はコロナ禍の影響で実習期間や内容に変更があったため、1年生の実習は泊まりなしでニジマスの解剖と三枚下ろし、歩留まりの計算などを行い、3年生での実習では1泊2日でさば缶の製造と、自分たちで作ったさば缶と市販のさば缶を食べ比べする品評会を行いました。

しかし変更こそあったものの、普段の座学での学びがどのように実際の食品加工に活きるのかを実感することができる貴重な機会となりました。特に3年生での実習では、さば缶製造に用いるボイラ(蒸気の熱を利用した熱源)と冷凍機の運転管理や、エネルギー使用量の記録などを行う係を担当したため、丸魚が缶詰めになるまでの工程だけでなく、食品製造にかかるエネルギー・コストや機械の仕組み、さらには食品製造の全体像についても理解を深めることができ、とても良い経験になりました。

また実習は、魚や食品製造について詳しく学ぶことができるだけでなく、シェフが作ってくださる美味しいご飯を楽しみ、皆と一緒に協力して活動することのできる良い機会でした。是非積極的に参加し、たくさんの知識を吸収し、たくさんの良い思い出を作っていたいただければと思います。



実習でのお昼ご飯

## コロナ明けの待ちに待った実習

海洋生命科学部 海洋生物資源学科4年

花井 雅治

「ギョギョギョギョー」そう言って、実習最終日の夜に、実習場所である館山ステーションに登場したのは、名誉博士さかなクンでした！さかなクンはその後、館山の海について1時間近くお話しくださいました。

今回の実習で一番記憶に残っているのは、このさかなクン登場の瞬間です。

そんなことはさておき、私は今回、集団生物学実習に参加しました。実習では、各班で選んだテーマについて、実習を行いました。私たちは、サンプリングしたギンイソワシの耳石を用いて、それらの孵化日推定を行いました。実習内では、データを取るために5mm程度の小さな耳石を加工する作業にとっても苦戦しました。顕微鏡を使いながらの非常に繊細な作業で、失敗してデータが取れなくなってしまうことも多くありました。時間のかかる作業が多く、同じ班のメンバーで夜遅くまで試行錯誤もしました。結果として、上手く孵化日を推定できませんでした。しかしながらこれらの活動は、研究の難しさや大変さを知る上で非常に貴重な経験となりました。また、魚を捕まえる機会はこれまで何度もありましたが、それらはいつも娯楽の対象でした。今回の実習では、初めてそれらが実験のためのサンプルとなったことで、新鮮さを強く感じ、これまでとはまた違う楽しさを感じることができました。

実習は短い期間でしたが、座学では体験することのできない感動を多く感じることができ、とても濃い時間であったと思います。



実習地にて、筆者は左端

大学での学び方

# 資格取得に向けて



## 漕ぎ出せ、世界の海へ!

海洋工学部 海洋電子機械工学科4年  
沖田 彩織

学生時代に可能な資格の取得は、出来るだけ早めに取りしておくことをお勧めします。特に海運会社への就職活動でアピールするためには、遅くとも3年生の10月定期試験までに海技士筆記試験合格が必要です。

航海士を目指す人は、1級海技士（航海）の筆記試験合格が当然のようですが、機関士を目指す人も1級海技士（機関）の筆記試験合格が有利と言われています。また、海技士国家試験は年に4回しかなく、乗船実習と重複し受けられないこともあるので、早めに、そして、計画的に進めていくことが重要です。

私は、1級小型船舶操縦士と2級海技士（機関）筆記試験合格、1級海技士（機関）科目合格にて海運会社にエントリーしました。TOEICに関しては、就職活動に

必要だと気付くのが遅れ、目標点に届かず、もっと早くに、計画的かつ集中して資格取得に動いていればよかったと、後悔しています。

特に大変だったのは、海技士の筆記試験です。初めて試験問題集を買い、本を開いて各科目の問題に目を通したとき、問題や解答の意味が理解できず困惑しました。事前知識がほとんど無いのに加え、問題量も膨大なため、勉強するのに苦労しました。そこで、スマートフォンで勉強できるようなアプリを探し、主に通学中に勉強できるように工夫しました。

最後に、海技士を目指す学生には、就職活動までに1級海技士の筆記試験は合格しておく方が良いです。結果として私自身、卒業までに1級海技士の筆記試験に合格できるように勉強を続けています。皆さんも、自分の希望を叶えるのに必要な資格を取得することに向けて、早めに計画的かつ集中して頑張ってください!



1級小型船舶操縦士 操船試験中



# 大学院で学べること



## 大学院で学びたいこと

海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻1年

片岡 桜

2024年度から新しい4学期制が始まり、今は大学院の講義を履修し、その合間に実験、研究をしています。「大学院で学べること」というテーマですが、大学院で学べるのが何か、私もまだよくわかりません。そこで、私は「大学院で学びたいこと」を書いてみたいと思います。

例えば植物プランクトン一つをとっても、生物的な面からの研究、化学的な面からの研究では、求められる技術や知識が異なってきます。生物的な面からは培養、種同定などを手段として、赤潮の発生原因などが研究対象になります。一方化学的な面からは、珪藻の栄養塩であるケイ素を対象とする場合、手段としての定量（濃度測定）に関しては汚染を防ぐために使用器具の選択、機器のメンテナンスなどが必要で、より良いデータを得るために生物分野とはまた違った原理や知識なども必要であることがわかってきました。そして「科学」というのはこれらの研究から総合的な知見を得ることであり、その手段を学びたいと思うようになってきました。

自分の研究から「新しい結果」を出すことも必要とは思いますが、化学系の学会などで発表し、聞いている方に理解していただくためには、本学では当たり前の植物プランクトンと食物連鎖の説明をし、自分の研究をうまく人に伝える努力が必要であることもわかってきました。聞いている方々へのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を大学院にて身につけたいと思っています。



研究室のある風景（本人）

## 応用生命科学専攻（博士後期課程）

海洋科学技術研究科 応用生命科学専攻2年

芝 美咲

本専攻で学べることを、実体験を通じてお話しすると、第一にプレゼンテーション能力が挙げられます。博士後期課程に入学して1年が経過しましたが、この一年間は国内外様々な学会やシンポジウム、勉強会といった機会に恵まれ、出張続きの日々でした。実験を積み重ねていた博士前期（修士）課程と比べて、外部に向けて研究内容を発表しフィードバックをもらう機会が多かったのが特徴的でした。いかに自分の有する知見を分かりやすく伝え、より良いディスカッションができるかと考えるのに多くの時間を費やしました。発表のあとの質疑応答では、質問に対する自分の考えを即興で言葉にして伝えることが大変難しく、実践を通して鍛えられました。

博士後期課程では個人の研究への向き合い方によって、過ごし方や学べる事は大きく変わると思います。実験をたくさん重ねて自分の専門性を極められたり、より勉強する機会が得られて知識が増えたり、私のように様々な場所で発表を行い、自分の研究を分かりやすく説明するスキルが磨かれたりと多様です。共通して言えることは、修士課程で足りないなと感じた部分を解消できることだと考えます。「もっと実験をしたかった」「より突っ込んで研究を進めたかった」「もっと発表の場を経験したかった」このような思いに応え、より学びを深めることができるのが本専攻であると思います。私もあと2年間、思い残すことがないように研究を楽しみ、学べるだけ学びきりたいです。



韓国での学会参加時

## 大学での学び方

# 卒業論文・修士論文への 取り組み方



### 卒業論文の取り組み方

海洋科学技術研究科 海洋管理政策学専攻1年

岸本 将光

これから研究室に所属される学生の皆さんは、卒業論文に対しどのようなイメージを抱いているのでしょうか。卒論に悩む先輩の話こそ聞けど、楽々とこなした人の話を聞くことは少ないのではないかと思います。

私は3年生の後期から研究室に所属し、生物と社会の関係に関心があったことから捕鯨に関する卒論に取り組みました。初めてのことばかりでしたが、担当の先生の根気強いご指導のもとなんとか完成させることができました。私の経験から卒論の取り組み方をアドバイスさせていただきますと以下ようになります。

まず、論文の全体像を終始イメージすることが大切です。研究ではデータが集まるにつれて構成内容も固まっています。方向性を見失わないために、情報収集と並行して論文の構成も練り続けてゆくことをお勧めします。

次に、同じように卒論に取り組む仲間を研究室の内外で見つけることが研究を楽しむコツです。なぜなら、卒論に取り組む仲間はフラットな関係で批判し合える相手だからです。私自身、他の研究室に上がり込んで「この書き方はどうか」というような相談によく乗ってもらいました。これがゼミとはまた違う良い刺激となりました。

そして何より、自分の研究に対する自信こそが卒業というゴールまで走り切るエンジンだと思います。思い入れのある研究が卒論として形になったときの達成感は得難いものですので、これから臨まれる方はぜひ卒論ライフを楽しんでください。



沿岸域資源論研究室（工藤研）のメンバー

### 修士論文への取り組み方

海洋科学技術研究科 応用環境システム学専攻1年

婁 威

応用環境システム学専攻産業政策文化学分野に在籍している博士後期課程1年生の婁威です。このような機会が与えられ、感謝いたします。

修士論文は2年間の研究成果を取りまとめるものではあるが、私はその作成過程において深い専門知識の習得、大量のデータを分析するスキルやコミュニケーション能力の向上など多くの学びと経験を積み重ねることができました。とくに次の3点を後輩の皆さんにお伝えしたいと思います。

まずは、できるだけ早い段階から研究の目的を明確にしたほうが良いでしょう。自分の興味のあるテーマにこだわるのが研究の原動力になることが多い一方、独りよがり的な発想となる場合もあるので、最初からしっかりと指導教員と相談しながら、研究テーマや目的を固めたほうが良いかと思います。研究に必要な条件や、研究の背景、新規性、独創性など研究の意義を明確にすることで、回り道を避けことができるからです。次に、視野を広くするための幅広い勉強をすることです。深い専門知識の習得は関連論文や専門書籍を意図的・選択的に勉強する必要があり、実験やシミュレーション検証のためには多くの方法論を学ぶ必要があり、さらに大量のデータを分析する方法論の習得も必要となります。最後に、コミュニケーション能力の向上が重要です。研究の成果を他者に分らせるための発表や議論がどうしても必要となるので、反省も込めてそのためのスキル向上に努力することがきわめて重要となります。

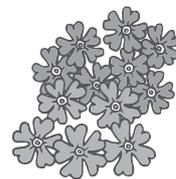


韓国釜慶国立  
大学で撮影

## 卒業生より



# 業界で活躍している OB・OGの方々



### 海から川、山へ

2021年3月 海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科 卒業

2023年3月 海洋科学技術研究科 海洋資源環境学専攻 修了

2023年4月 いであ株式会社入社

澤田尚毅

みなさんは「ヤン坊マー坊天気予報」というテレビ放送を覚えていますか。いであ株式会社は、もともと気象・海洋関連のコンサルタント業務を主体としてスタートし、「ヤン坊マー坊天気予報」の天気予報情報の提供をしていました。現在は、建設プロジェクトの企画から評価、環境調査、生物の研究に至るまで、多岐にわたる業務を手掛けています。私は、そんないであ株式会社の防災情報システム部という部署に勤めて2年目になります。

大学の研究室では、先輩の研究紹介で見たドローンが撮影する海の景色に魅了され、ドローンとカメラを扱う研究テーマを選びました。自分から興味を持って始めた研究だったこともあり、大学院を卒業して入社した後も研究を続け、海外の査読付き論文の学会誌に掲載してもらえるまでに至りました。

就職活動では、ドローンを扱う仕事を探していました。ドローンを扱う会社の多くは測量業務が中心となる中で、いであの防災情報システム部は「360度のパノラマ画像を活用した河川モニタリング」のようなユニークなドローンの使い方をしていることに魅力を感じました。また、防災情報システム部では、ゲームエンジンやAR、VRなどの技術にも関わることができる点に興味を引かれました。仕事内容がバリエーションに富んでいる

方が自分に合っていると感じ、いであで働く決断をしました。

私が最初に携わった業務は、河川における環境モニタリングでした。私の部では、ドローンの空撮によって川底に堆積した土砂を広範囲にモニタリングすることを担当しました。また、河川を含む周辺地形の3次元モデルをドローンで空撮した写真から作成し、その3次元モデルに魚類の生息数などの環境調査結果を重ね合わせて、調査結果と位置情報を関連付けて見える化できるツールを作成しました。ドローンの操作から3次元モデルの作成に至るまで、この業務では大学時代の研究が活かされました。

現在、私が主に担当している業務は、土石流検知システムの構築と導入です。みなさんは砂防ダムを見たことがありますか。砂防ダムは土砂を溜めることを目的とし、土石流をせき止め、下流の被害を抑えています。私の部



山梨県の山間部において、土石流検知システムのためのカメラ設置の風景

では、砂防ダムに設置したカメラを用いた土石流検知システムの構築と導入のプロジェクトに携わっています。砂防や土石流、システムの構築などに関しては知見がなかったため、取り組み始めた当初は苦労しました。しかし、提案した場所にカメラが設置されることや、デザインしたシステム画面が構築されるなど、自分が提案したことが形になり、人に喜んでもらえることは大きなやりがいとなっています。

日本全国の海、川、山がフィールドで、仕事の内容は最新のIT技術を扱うことから、現地の調査まで多岐にわたります。この記事をきっかけに、建設環境コンサルタントという業界に、ひいてはいであに、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

## 大学での学びを仕事へ

2019年3月 海洋工学部海洋電子機械工学科 卒業  
2021年3月 大学院海洋科学技術研究科海洋システム工学専攻 修了  
2021年4月 凸版印刷(株) (現TOPPANホールディングス(株)) 入社  
※現在はグループ会社であるTOPPAN (株) に所属

川村大和

はじめまして、私は2019年海洋工学部海洋電子機械工学科を卒業後、2021年に大学院を卒業いたしました。配属された電子制御研究室ではROV（遠隔操作型水中ロボット）や小型ASV（自律型航行ロボット）の開発をテーマに研究をしておりました。大学院を卒業後は凸版印刷(株) (現TOPPANホールディングス(株)) に入社し、工場の自動化を進める部署に所属しております。現在は海と関係の薄い仕事をしておりますが、仕事の内容と大学で学んだどのようなことを業務で用いているのかを紹介します。

現在、私は工場の自動化の中でも、「製袋工程（袋を作る工程）」を中心に業務を行っています。当社では、社名が凸版「印刷」であったように「印刷テクノロジー」をコア技術とし、紙への印刷だけでなく、フィルムへの印刷、そして印刷したフィルムを袋にする技術を持っており、それらの製造・設計設備を有した工場があります。私の業務におけるミッションは、「設備の改造・開発を通じて、生産作業に必要な人数を減らすことや設備の効率を向上させることで利益を生み出すこと」です。具体的には課題の確認として現地調査から始まり、試作機の開発・検証、そして投資に見合うだけの効果が得られることを確認して生産機を工場へ導入します。

装置の開発においては協力会社と共同で行うことが多いですが、基礎となる機械の知識はもちろん、電気・システムの知識がないとスムーズにやり取りを行うことができません。また、設備を開発するにあたっては十年単位でほぼ24時間の動作をさせる設備となるため、必要な強度を担保するために材料・表面処理などの知識も必要となります。さらに、担当している工場は生産ラインや製造機械といった工場内の各種設備をネットワークで接続し、生産活動の最適化や情報管理の効率化を図る先進工場（スマートファクトリー）のため、品質管理やトレーサビリティを行うためのプログラムやAI、制御についても知識が必要です。このように工場の新規設備の開発においては、様々な知識が求められる機会が多くあります。

これらの必要な知識の基礎は大学時代に身に着けたものです。機械についての知識は乗船実習や専門科目の授業を通じて、電気に関する知識や制御については研究を通じて学んできました。研究室ではROVを用いたウニの駆除システムの開発というテーマで宮城県南三陸町での実地試験の機会がありましたが、そこで培った経験は工場での設備導入に活かしていると感じています。どちらも遠方で行うため事前にどれだけ準備を行うか、そして不足してしまった分をどのように現場で補うかという力を培ったと思います。

このように現在行っている業務においては自分でも想像していなかった程、大学時代に学んだことを多く活用しています。授業や研究をはじめ、東京海洋大学には好きなことができる環境が揃っていると思います。ぜひ様々な制度を活用して、有意義な大学生活を送ってください。また、大学で学んだことを余すことなく使いたいと感じた方は、ぜひTOPPANを検討してみてください。今回紹介した以外にも幅広い事業分野を有しているため、自分の能力を最大限使い、伸ばしていくことができると思います。



TOPPAN 福崎工場屋外にて

# 新任教員の紹介



海洋生物資源学部門 准教授  
董 書 闖

令和6年4月1日付で海洋生物資源学部門に着任しました、董 書闖と申します。私は中国の山東省出身で、初めて海洋大にきたのは大学3年生の特別聴講生のときでした。東京のような大都会にありながら、キャンパスの素朴な研究雰囲気には強いギャップを感じました。2018年に博士学位を取得し、その後は東京大学で5年以上研究員として活動してまいりました。このたび、母校で教員として働く機会を得たことを大変光栄と思う同時に、身が引き締まる思いです。

私の専門は水産工学で、特に海面養殖施設の開発に関する研究に取り組んでおります。具体的には、柔軟な網構造物の研究や海洋環境への影響評価、画像解析や機械学習を活用した海洋構造物設計に関する研究を行っています。また、魚群の行動特性を考慮に入れながら、総合的なアプローチで研究を進めています。水産学は学際的な分野であり、様々な知識を統合して研究する必要があります。これから、この分野における最新の知識と技術を皆さんと共有し、共に学び、成長していきたいと考えております。

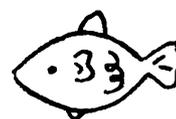
また、外国人教員としては、国際交流や留学生支援に力を入れていきたいと考えています。留学生の皆さんが充実した学びの環境を享受できるよう、全力でサポートしてまいります。

今後は特に、気候変動に対応する海面養殖生産基盤の構築や、洋上風力発電と漁業の共生に関する研究に力を入れていきたいと考えています。一緒に水産業をよりよくするための研究にチャレンジしていきましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。



海洋生物資源学部門 テニユアトラック助教  
堀之内 祐 介

2023年4月1日付で海洋生物資源学部門のテニユアトラック助教に着任いたしました、堀之内祐介（ほりのうち ゆうすけ）と申します。私は、千葉大学理学部を卒業し、同大学院理学研究科博士後期課程を修了しました。博士研究員を経て、昨年度までは北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所にて勤務しておりました。私の研究対象は海藻類、特にアオノリやヒトエグサに代表される緑藻類です。多くの海藻類は雌雄を持ち、精子や卵に相当する小さな生殖細胞（配偶子）で生殖します。私はこれまで、海藻類の培養株確立とその生殖と発生の制御系を確立し緑藻類の繁殖生態と生活環境の多様性について研究を行ってきました。海藻は我が国を含む東アジアで重要な水産資源となっていますが、近年の温暖化を伴う気候変動の影響で、その生産量は不安定化しています。また、海藻類の多様性は沿岸の生物多様性の基盤となりますが、近年の沿岸開発により、多くの種や集団が減少し絶滅に瀕しています。私は、学生の皆さんに海藻の生物としての面白さ、重要性を知っていただきながら、フィールド、顕微鏡、実験室培養を組み合わせることで有用海藻がどのように繁殖しているのかを解き明かし、温暖な環境に適応した種や集団を用いた養殖や、海藻生殖の制御の効率化、海藻種保存株の多様化などからこれらの問題にアプローチしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。





海洋生物資源学部門 助教

松本 萌

令和6年4月1日付で海洋生物資源学部門水族病理学研究室の助教に着任いたしました、松本萌と申します。私は、2019年に鹿児島大学連合農学研究科を卒業し、水産学の博士号を取得いたしました。その後、2022年まで、日本学術振興会の特別研究員として本学で3年間勤務してまいりました。2022年の春以降、現在までドイツのフリードリヒ・レフラー研究所で、海外特別研究員として勤務し、この春から本学教員として働かせて頂けることになりました。

私は、学部時代の研究から現在に至るまで、一貫して養殖魚に発生する魚病の感染防御に取り組んで参りました。特に、海産養殖魚に発生する魚病に対するワクチン開発を中心に行ってきました。本学で博士研究員として勤務した3年間は、私たち哺乳類と魚類の免疫機構の違いに着目し、なぜそのような違いがあるのか、その違いは生存戦略的にどのような利点があるのか、といったことを日々考え、研究して参りました。実験から得られる研究結果はいつも綺麗というわけではありませんが、なぜうまくいかないのか、という問いがいつも様々な発見を導いてくれます。

魚病研究では現場視察も大変重要であり、養殖の現場へも度々赴きます。実際に飼育されている養殖魚は大きくて、強く、かっこよく（稚魚は可愛く）、大変おいしそうであり、いつ見ても圧倒されます。皆様と一緒に純粋な水産のかっこよさを体験する日を心待ちにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



食品生産科学部門 助教

中村 綾花

2024年4月1日付で食品生産科学部門(食品微生物学研究室)の助教に着任しました、中村綾花と申します。

私の専門は「食品微生物学」です。私はこれまで、農場から食卓まで、食を取り巻く環境において、微生物学の観点から、「食品の安全性確保」及び「品質の維持」を目指した研究を行ってきました。「食品」は誰もが毎日欠かさず摂取するものであり、身の回りにあふれています。しかし、「食品」を工業的に製造するためには、食品微生物学の知識や技術が必ず必要となります。例えば、コンビニなどで何気なく手に取ったおにぎりには、生産

してから消費者の手元に届くまでに、安全性を確保しつつ品質を維持するためのノウハウがたくさん詰め込まれています。食品産業では、美味しい食品を製造するのはもちろん、安全性を確保することが大前提であり、それには食品微生物学が密接に関係しています。更に、近年では農林水産物・食品の輸出促進に重きが置かれており、食品を輸出する際には、「食の安全」に対する諸外国の要求も厳しくなっています。そのような変わりゆく時代の中で、現代のニーズに適合した、食品産業に寄り添った研究を今後も続けていきたいと考えております。

東京海洋大学は私の母校であり、学生時代から慣れ親しんだ環境で働くことができ、大変嬉しく思います。これまで得た知識や経験を基に今後も研究活動を進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



流通情報工学部門 助教

松井 一徳

2024年4月1日付で流通情報工学部門に助教として着任した松井一徳(まつい かずのり)と申します。2022年3月に金沢大学で博士号を取得し、その後2024年3月まで成蹊大学で助教として勤務していました。

私の専門分野は流体問題の数値解析と数学解析です。圧力差を作り出すことで流れを生み出す機構は配水システムや血液循環のように数多くあります。そういった流体の数値シミュレーションで使用されている圧力に関する境界条件について、数学と数値計算の両面から研究しています。これらの研究によって、数値シミュレーション手法で得られた結果の数学的妥当性が保証され、流体の挙動をより正確に予測・制御することに繋がると考えています。また最近では、流体に対する数値計算の高速化や、金属やコンクリートなどの材料変形を扱う弾塑性問題に対する高速かつ安定な数値計算手法の開発、さらには深層学習で用いられるニューラルネットワークの性能に関する研究にも取り組んでいます。

流体問題や弾塑性問題、ニューラルネットワークについて数学的な側面から研究していますが、これら以外の数学や数値シミュレーションに興味がある方も大歓迎です。学生の皆さんと一緒に、様々な数学的問題に取り組み、新しい発見や解決策を見出していきたいと思えます。数学や数値シミュレーションに少しでも興味がある方は、ぜひ気軽に研究室にお立ち寄りください。どうぞよろしくお願いいたします。



海洋資源エネルギー学部門 テニュアトラック助教  
高橋圭太

2024年1月付けで海洋資源エネルギー学部門に着任しました、高橋圭太です。私の専門は材料工学で、超電導を使った新しい電磁応用技術に基づく海洋開発に臨んでいます。

超電導という言葉は、今やエネルギー、電気通信、医療など多分野で聞かれます。高温超電導体を用いれば、液体窒素温度でも特有の物理現象が体験できます。超電導に限らず新しい材料を利用する際には、材料の特性を理解する基礎研究と共に、それらの機能を技術として成立させるために応用的な研究開発が必要です。学生の頃から現在まで、超電導電流によって強力な磁場を発生させる基礎研究を継続しています。電流と磁場はローレンツ力を生じるため、材料を壊さない設計上の工夫も必要です。こうした材料を取り巻くマルチな物理現象は、難解でありながら興味深くも見えます。最近では新たに「磁気浮上装置」を開発し、8テスラの磁場で反磁性材料を浮遊することに成功しました。

海洋には海上から海底の各所に未利用の材料、あるいは天然資源やエネルギー資源が存在します。これらを研究対象に、本学では持続的な海洋開発に資する電磁応用技術の創出を目指します。環境資源分野ではプラスチックや水生生物を対象に非接触選別技術や無重力発生技術、海洋エネルギー分野では超電導発電機に関する発展的な研究に取り組みます。

本学で教職員の方々、学生のみなさんと研究教育に臨めることを嬉しく存じます。よろしくお願い致します。



海洋資源エネルギー学部門 テニュアトラック助教  
浅井咲樹

2024年4月から海洋資源エネルギー学部門の助教に着任しました、浅井咲樹（あさいさき）と申します。2021年に本学にて博士の学位を取得後、3年ほど水産研究・教育機構でクロマグロの資源評価に係る調査・研究に携わっていました。

専門は超音波テレメトリーやバイオロギングによる生態研究分野で、計測学や水中音響学を中心とした行動計測技術を扱っています。海洋生物の行動を知るために、あらゆる計測機器が開発されており、研究に対象に合わせた使い分けています。調査対象と環境に合わせた研究

デザインを考え、時には機器開発や新たな調査・解析手法を考案し、生態解明に繋げていきます。

生態研究を通して学ぶことのできるウェアラブルセンシング技術は、気付かないだけで私たちの身の回りに溢れています。スマートフォンやゲーム機などに搭載されている加速度センサは、傾きを検知することができるため、生物の姿勢推定に使われます。昼と夜を区別できる照度センサは、日の出・日の入り時刻からある程度の位置を推定することができます。テレメトリーで使用される超音波技術は、エコー検査や指紋認証で使われています。このように、私たちの生活を豊かにしている技術がこういったものなのか、原理を理解する楽しさもあると思っています。

これから教育・研究を通して、学生の皆さんと学びながら自身も日々成長していければと考えています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



海の研究戦略マネジメント機構 教授  
浪川珠乃

海の研究戦略マネジメント機構に2024年3月1日付で着任しました、浪川珠乃（なみかわ たまの）と申します。私は海辺で育ったこともあり、海は非常に身近な存在でした。長じて、大学では海洋工学専攻課程で造船関係を学び、卒業後は建設コンサルタント会社で港湾や海岸の調査・計画・設計等に携わってきました。その後、本学の大学院で水産経済学を学び、学位取得後は漁港漁場漁村総合研究所という財団法人で漁港や漁村の調査・計画等に携わりました。

皆様ご存じの通り、日本の国土面積は約38万km<sup>2</sup>しかありませんが、領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせた面積は約447万km<sup>2</sup>で世界第6位とされています。日本の国土と海が接する海岸線の長さも約3万5,600kmと長く、沿岸域は漁業やレジャー、資源開発等様々に利用されています。沿岸域の利用調整や環境管理に関係する省庁も多岐にわたり、非常に複雑なうえ、半島部や離島部等の条件不利地域も多いのが特徴です。このような複雑な沿岸域の管理や、沿岸地域の振興が私の大きな関心事です。

興味の赴くままに調査・研究活動を行ってきましたが、結果として、国土交通省や水産庁等の海に関係する各省庁、そして、海に面した様々な自治体、特に、海に関する社会基盤整備や漁業地域の振興に関する施策に触れてくることにつながりました。

私が所属する海の研究戦略マネジメント機構は2024年3月に発足した新しい組織です。基礎研究から社会実装まで、外部資金獲得や起業の支援、知財関係等、東京海洋大学で行われる様々な研究活動を支援する部門です。これまでの経験を活かし、皆様の研究活動を支援していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



海の研究戦略マネジメント機構 准教授  
永井幸枝

2024年2月1日付で産学・地域連携推進機構の准教授として着任し、3月から新組織、海の研究戦略マネジメント機構に所属しております、永井幸枝と申します。新任ではありますが、食品素材メーカーの研究者として30年以上勤務し社内での研究の実務的な責任者をしていましたので、これまでの経験やスキルを大学で活かすことが求められると思っております。そこで、これまでの経験についてご紹介させていただきます。

大学と修士では細菌の系統微生物学を、入社初期は機能性糖類(パラチノース、トレハロース)の製造開発研究を行いました。土壌からこの糖類を生産する細菌の分離・同定、酵素の効率的生産(培養)条件の検討、酵素の固定化(アルギン酸Caゲル包括・キトサンビーズ吸着など)、工程での反応条件を検討し、実際に10トン/日以上糖類の製造、販売を実現しました。この研究で、博士(農学)の学位と、技術士(生物工学部門)の資格を取得しました。

その後、食品・飼料、化粧品の素材開発や機能性研究に携わりました。素材の物性や加工特性については社内業務でしたが、機能性研究では、15以上の大学・研究機関や他企業と共同研究しました。素材開発には、ラボ試験の後、プラント・実機試験、並行して規格設定、安全性確認、知財取得、パブリシティ、制度(規制)改革などを行う必要があります。そのため、先行文献調査、特許出願・審査対応、相手先との契約締結、業界団体活動を主に担当しました。

また、これらはチームで対応する必要があり、チームで研究内容を検討したり、チームのスキルアップのため部下たちの資格取得を奨励したり、論文や業界誌への投稿を指導したりしてきました。

現在、学生の皆さんに授業をする予定はないのですが、企業の研究や食品生産分野について何か聞きたいことがあったら、いつでも7号館の研究室にいらしてください。

私も早くこの大学に慣れるようにしていきたいと思ます。よろしくお願いいたします。



水圏生殖工学研究所 准教授

林 誠

2024年4月1日より水圏生殖工学研究所の准教授に着任した林 誠と申します。

私は、卵や精子といった生殖細胞に興味をもって研究を行っています。動物の体の中には、生きていくために必要な、いろいろな種類の細胞があります。たとえば、体を動かすための筋肉細胞、周囲の情報を脳に伝える神経細胞などです。そんな体のなかで、生きていくのには役に立たないけれど、他にはない特殊な能力を持った細胞があります。それが生殖細胞です。どのような能力をもっているかということ、個体(次の世代)を作り出すという能力です。これは、体をつくる他の細胞にはない非常に特別な能力です。私は、このような特殊な能力をもつ細胞に興味をもって研究を行っています。

大学院では、ショウジョウバエを用いて生殖細胞がどのように作られるかについて、分子生物学的手法を用いて研究を行ってきました。その後、個体を作り出すことができるという生殖細胞の能力を利用した代理親魚技術の研究を知り、その研究に携わらせていただいています。代理親魚技術は、生殖細胞の中でも特に未分化な生殖幹細胞と呼ばれる細胞を利用した技術になります。しかし、魚の生殖幹細胞については、まだまだ分かっていないことがたくさんあります。精巣や卵巣の中のどの細胞が生殖幹細胞であるかを見分けることすらも困難な状況です。

私は、分子生物学など基礎生物学的な研究手法を用いて、「魚の生殖幹細胞ってどんな細胞なの?」という問いに、学生の皆さんと共に挑戦していければと思っています。よろしくお願いいたします。

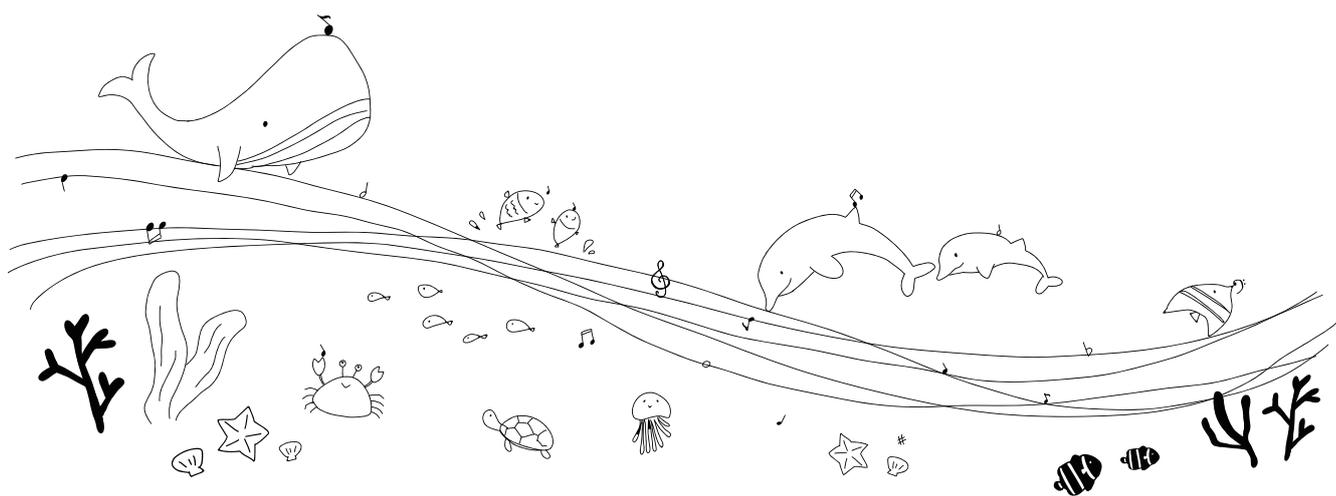


# 2023年度学生会報告書

## ●2023年度海洋工学部学生会報告書

海洋工学部 学生会  
小島丸輝

〈収 入〉		(円)	〈支 出〉	
前年度繰越金	4,068,010		サークル活動支援金	6,901,225
利息	49		学生会事務費	12,519
学生会費	3,770,000		計	6,913,744
新入生	92人×40,000			
編入生	3人×20,000円			
1人×30,000円				
計	7,838,059		〈来年度への繰越金〉	
			収入	7,838,059
			支出	6,913,744
			来年度繰越金	924,315



大学祭特集

実行委員長から

# 海王祭の紹介



## 成長する海王祭

第64回海王祭実行委員会委員長  
海洋工学部 海事システム工学科3年

飯泉 慧大

はじめまして、第64回海王祭実行委員会の委員長を務めております、飯泉慧大と申します。

海王祭は毎年6月上旬に越中島キャンパスの学園祭として開催されています。本年度は6月1日(土)、2日(日)の2日間にわたり開催し、昨年に引き続き制限なしの対面で執り行います。コロナ禍を乗り越え、4年ぶりの開催となった昨年第63回海王祭が「再起」と表せるのであれば、本年は「成長」という言葉がふさわしくなるよう実行委員一同、精一杯努力してまいります。

海王祭では、多彩なイベントや展示、そしておいしい食べ物であふれています。まず、特設ステージでは重要

文化財「明治丸」をバックにさまざまなパフォーマンスや来場者参加型の企画が予定されています。軽音、ダンス、合唱など、本学の学生が心を魅了するエンターテインメントを披露してくれます。部活動やサークルが出店する模擬店と教室展示では独自の魅力が光り、オーケストラやロボット展示、海の写真展など、テント・教室ごとに新たな発見が待っています。

海王祭のもう一つの特徴として、多くの企業・団体の皆様にお越しいただき、特色あるブースを出展していただいています。主に海事産業に関わるさまざまな分野で活躍する企業の事業紹介などが行われており、海の仕事を知ることができる大変貴重な機会となっています。

最後になりますが、第64回海王祭の開催にあたりご協賛いただいた企業の方々、大学関係者や学生の皆様、企画に携わっていただいたすべての方々へ心よりお礼申し上げます。



第64回海王祭実行委員メンバー

# ニュース

# &

# トピックス

## 令和5年度3月期学生表彰授与式、学業優秀学生奨学金授与式、学会等各賞表彰式を行いました(令和6年3月22日)

### ○学生表彰(学部)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、入学以来よく勉学に努め、優秀な学業成績をおさめた学部学生8名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

### ○学生表彰(大学院)

東京海洋大学学生表彰規則に基づき、研究活動において特に顕著な研究成果をおさめた学生19名に対して、日頃の努力を称え、表彰状および記念品が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

### ○学業優秀学生奨学金授与式

東京海洋大学学業優秀学生奨学金規則に基づき、成績優秀な博士前期課程2年次在籍者で博士後期課程に進学する6名に奨学金の目録が授与されました。



井関学長(前列中央)と受賞した学生

### ○学会等各賞表彰式

特に顕著な学業成績をおさめた学部学生27名、専攻科学生1名、大学院学生10名に対して、以下に記載した各学会等の表彰状および副賞が授与されました。

海洋会「海洋会賞」

楽水会「楽水会奨励賞」

日本機械学会「畠山賞」

日本船舶海洋工学会「奨学褒章」

日本航海学会「奨学褒章」

海技教育財団「会長賞」

空気調和・衛生工学会「振興賞学生賞」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀学生奨励賞(山下勇賞)」

日本マリンエンジニアリング学会「優秀大学院生奨励賞(林俊一賞)」

日本物流学会「物流研究奨励賞」

電気学会東京支部「電気学術奨励賞」



井関学長（前列中央）と受賞した学生



井関学長（前列中央）と受賞した学生

## 令和5年度3月期学位記・修了証書授与式を挙行了しました

令和5年度 学位記・修了証書授与式を、3月25日（月）に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙行了しました。

今年度の卒業生・修了生は、学部卒業生457名、海洋科学専攻科修了生30名、博士前期課程修了生236名、及び博士後期課程修了生22名の計745名です。

来賓の方々にもご臨席いただき、卒業生・修了生の門

出を祝う温かい雰囲気の中で開催され、それぞれ授与された学位記を胸に、思い出の詰まった母校から旅立ちました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。



式典の様子



晴れやかな笑顔の卒業生・修了生

## 令和6年度入学式を挙行了しました

令和6年度入学式を、4月5日（金）に越中島キャンパス越中島会館講堂にて挙行了しました。

今年度は、学部生468名、海洋科学専攻科生32名、乗船実習科生41名、博士前期課程253名、博士後期課程21名の計815名が、東京海洋大学生として新たな一歩を踏み出しました。

来賓の方々にもご臨席いただき、入学生の新たな一歩

を後押しするような温かい雰囲気の中での開催となりました。

井関学長が式典中に読まれた式辞の全文は、大学ホームページからご覧いただけます。また、入学生へ向けたいお祝いとして、本学客員教授のさかなクンからメッセージ動画をいただきました。学長式辞と同じホームページに掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



式辞を読む井関学長



校歌斉唱



これから大学生活が始まる入学生

## 就職情報

# 令和5年度卒業者の就職先

### 海洋生命科学部・海洋資源環境学部・海洋科学専攻科

業種	企業名
建設業	五洋建設株式会社
	株式会社東京エネシス
	深田サルベージ建設株式会社
	株式会社不動テトラ
製造業	いなば食品株式会社
	株式会社合食
	サントリーホールディングス株式会社
	テーブルマーク株式会社
	トオカツフーズ株式会社
	株式会社日清製粉グループ本社
	日本ハム株式会社
	日本遠洋旋網漁業協同組合
	プリマハム株式会社
	ブルドックソース株式会社
	Proximar Seafood
	マルハニチロ株式会社
	三菱商事ライフサイエンス株式会社
	大和製罐株式会社
	東洋アルミニウム株式会社
	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	株式会社ニコン
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
	ヤンマーエンジニアリング株式会社
情報通信業	株式会社RKKCS
	株式会社アクティブ・ワーク
	株式会社NTTデータグループ・株式会社NTTデータ・株式会社NTT DATA, Inc
	株式会社MCデータプラス
	株式会社カナミックネットワーク
	株式会社KSK
	株式会社サンエフ
	株式会社JSOL
	JPシステム開発株式会社
	スミセイ情報システム株式会社
	ソフトバンク株式会社
	株式会社テブコシステムズ(東京電力グループ)
	日本コムシス株式会社
	株式会社日立システムズ
運輸業・郵便業	旭海運株式会社
	NSユナイテッド海運株式会社
	ENEOSオーシャン株式会社
	大岡船舶株式会社
	海洋技術開発株式会社
	栗林マリタイム株式会社

業種	企業名
運輸業・郵便業	コマツ物流株式会社
	第一中央汽船株式会社
	日本郵便輸送株式会社(日本郵政グループ)
	日本海洋事業株式会社
	日本郵船株式会社
	八馬汽船株式会社
	東日本旅客鉄道株式会社
	備後共同汽船株式会社
	マリックスライン株式会社
	三菱鉱石輸送株式会社
明治海運株式会社	
卸売業・小売業	株式会社オールフロンティア
	神鋼商事株式会社
	デリカフーズ株式会社
	株式会社日本アクセス
	株式会社ノースイ
株式会社コロワイドMD	
金融業・保険業	全国共済水産業協同組合連合会
不動産業・物品賃貸業	株式会社リアライズコーポレーション
学術研究、 専門技術サービス業	総合地質調査株式会社 株式会社東京久栄
宿泊業、飲食サービス業	日本マクドナルド株式会社
生活関連サービス業、 娯楽業	NEXUS株式会社 株式会社バンダイナムコアミューズメント
教育・学習支援業	鹿児島県立鹿児島水産高等学校
医療・福祉	株式会社manaby
サービス業	株式会社グローバルオーシャンディベロップメント
	公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
	しがの漁業技術研修センター
	公益財団法人水産物安定供給推進機構
	WDB株式会社 エウレカ社
	株式会社東洋信号通信社
	日研トータルソーシング株式会社
	株式会社パソナグループ フロンティア株式会社
公務	気象庁
	厚生労働省
	国土交通省
	水産庁
	大田区役所 千葉県
その他公的機関等	独立行政法人海技教育機構
	国立研究開発法人水産研究・教育機構

業 種	企 業 名
その他公的機関等	全国漁業共済組合連合会
	全国漁業協同組合連合会
	国立研究開発法人理化学研究所

## 海洋工学部・乗船実習科

業 種	企 業 名
鉱業・採石業・砂利採取業	丸紅エネックス株式会社
建設業	KDDIケーブルシップ株式会社
	五洋建設株式会社
	大成建設株式会社
	東亜建設工業株式会社
	東洋建設株式会社
製造業	住友電気工業株式会社
	株式会社フジクラエナジーシステムズ
	東京エレクトロン株式会社
	日立建機株式会社
	三井E&Sグループ(三井造船)
	三菱重工業株式会社
	アズビル株式会社
	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
	日本無線株式会社
	海洋電子工業株式会社
	長野日本無線株式会社
	株式会社日立製作所
	三菱電機株式会社
	今治造船株式会社
	NOK株式会社
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
	株式会社タマディック
	株式会社ビーネックステクノロジーズ
	電気・ガス・熱供給・水道業
東京電力ホールディングス株式会社	
情報通信業	株式会社アートディンク
	株式会社NTTデータアイ
	株式会社カイトテクノロジー
	クロス・ヘッド株式会社
	株式会社サイバーエージェント
	株式会社テブコシステムズ(東京電力グループ)
	株式会社ビッツ
	富士ソフト株式会社
富士通株式会社	
株式会社モス(MOSS Co., Ltd.)	
運輸業・郵便業	旭タンカー株式会社
	飯野海運株式会社
	いすゞロジスティクス株式会社
	出光タンカー株式会社
	SBS東芝ロジスティクス株式会社
	NSユニテッド海運株式会社
	NYKバルク・プロジェクト株式会社
	NYK LNG シップマネージメント株式会社
	ENEOSオーシャン株式会社
	鹿児島船舶株式会社

業 種	企 業 名
運輸業・郵便業	川崎汽船株式会社
	神原汽船株式会社
	共栄タンカー株式会社
	鴻池運輸株式会社
	JFE物流株式会社
	株式会社商船三井
	新日本海フェリー株式会社
	太平洋フェリー株式会社
	津軽海峡フェリー株式会社
	日鉄物流株式会社
	日本海洋事業株式会社
	日本郵船株式会社
	阪九フェリー株式会社
	三井倉庫ホールディングス株式会社
	三井倉庫ロジスティクス株式会社
三菱倉庫株式会社	
卸売業・小売業	岡谷鋼機株式会社
	キヤノンマーケティングジャパン株式会社
	株式会社スズケン
	日本紙パルプ商事株式会社
	株式会社ニトリ
金融業・保険業	損害保険ジャパン株式会社
不動産業・物品賃貸業	エムトラスト株式会社
学術研究・専門・技術サービス業	株式会社NTTファシリティーズ
	株式会社C S S技術開発
	株式会社野村総合研究所(NRI)
教育・学習支援業	フューチャーアーキテクト株式会社
サービス業	宮崎県公立学校教員
	株式会社グローバルオーシャンディベロップメント
	一般社団法人日本海事検定協会
	日本サルヴェージ株式会社
	一般財団法人日本海事協会
	独立行政法人日本貿易振興機構
公務	三菱商事ロジスティクス株式会社
	株式会社ワールドインテック
	気象庁東京管区気象台
	防衛省 海上自衛隊
その他公的機関等	新潟県
	独立行政法人海技教育機構
	国立研究開発法人海洋研究開発機構

# 大学院海洋科学技術研究科

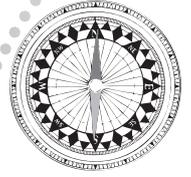
業 種	企 業 名
農業・林業	J A 全農北日本くみあい飼料株式会社
鉱業・採石業・砂利採取業	出光興産株式会社
	シュルンベルジェ株式会社
建設業	清水建設株式会社
	東洋建設株式会社
	日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社
	株式会社ホリエイ
	アサヒグループ食品株式会社
製造業	茨城乳業株式会社
	株式会社スギヨ
	カルビー株式会社
	キュービー株式会社 総合職
	株式会社極洋
	株式会社湖池屋
	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
	サントリーホールディングス株式会社
	太陽油脂株式会社
	高梨乳業株式会社
	Qingdao Vland Biotech INC
	月島食品工業株式会社
	株式会社東ハト
	カコグループ(カコエレクトロニクス/カコホールディングス/カコフード)
	株式会社ニチレイフーズ
	日清オイリオグループ株式会社
	日清食品株式会社
	株式会社日清製粉ウエルナ
	日清丸紅飼料株式会社
	株式会社ニッスイ
	株式会社ニッポン
	はごろもフーズ株式会社
	フィード・ワン株式会社
	不二製油株式会社
	株式会社分子生理化学研究所
	マリンフーズ株式会社(双日グループ)
	丸大食品株式会社
	丸美屋食品工業株式会社
	株式会社萬珍食品
	株式会社Mizkan
	ミツカングループ(株式会社Mizkan J plus Holdings)
	株式会社明治
	株式会社ヤクルト本社
	理研ビタミン株式会社
	株式会社ロッテ
	日東製網株式会社
	株式会社アブリス
	花王株式会社
	株式会社ガルテリア
	株式会社新日本科学
	積水化学工業株式会社
	中外製薬株式会社
日本細菌検査株式会社	
富士フイルム株式会社	
株式会社ポーラ	

業 種	企 業 名
製造業	J X 金属株式会社
	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	株式会社淀工業
	栗田工業株式会社
	水道機工株式会社
	住友重機械工業株式会社
	セイコーインスツル株式会社
	ダイキン工業株式会社
	タカハシガリレイ株式会社
	東亜工業株式会社
	東芝三菱電機産業システム株式会社
	東洋エンジニアリング株式会社
	株式会社ニコン
	日揮ホールディングス株式会社
	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
	株式会社日立パワーソリューションズ
	フジクリーン工業株式会社
	富士電機株式会社
	三菱重工業株式会社
	三菱重工業マリンマシナリ株式会社
	ローツェ株式会社
	キオクシア株式会社
	日本無線株式会社
	パナソニック株式会社
	今治造船株式会社
	株式会社シマノ
	ジャパンマリンユナイテッド株式会社
	株式会社デンソー
	三井E & S造船株式会社
	株式会社タカラトミー
	田島ルーフィング株式会社
	日本電気硝子株式会社
電気・ガス・熱供給・水道業	J-POWER(電源開発株式会社)
	株式会社JERA
	SICHUAN SHUXING INTELLIGENT ENERGY CO.,LTD.
	東京電力ホールディングス株式会社
北陸電力株式会社	
情報通信業	AMBL株式会社
	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
	ANAシステムズ株式会社
	SCSK株式会社
	NECソリューションイノベータ株式会社
	NHK(日本放送協会)
	エヌシーアイ総合システム株式会社
	NTTテクノクロス株式会社(NTTソフトウェア(株)、NTTアイティ(株))
	エリクソン・ジャパン株式会社
	京セラコミュニケーションシステム株式会社
	株式会社GA technologies
	株式会社J SOL
	株式会社時事通信社
	株式会社新潮社
	株式会社テブコシステムズ(東京電力グループ)
株式会社電通国際情報サービス	

業種	企業名
情報通信業	日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社
	農中情報システム株式会社
	株式会社ピーアンドアイ
	株式会社日立アドバンストシステムズ
	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
	株式会社メンバーズ
運輸業・郵便業	株式会社MTI
	川崎汽船株式会社
	京王電鉄株式会社
	京浜急行電鉄株式会社
	原燃輸送株式会社
	DHL サプライチェーン株式会社
	日本海洋事業株式会社
	日本航空株式会社
	東日本旅客鉄道株式会社
	株式会社二葉
三井倉庫ホールディングス株式会社	
卸売業・小売業	稲畑産業株式会社
	三洋貿易株式会社
	第一実業株式会社
	ニチモウ株式会社
	株式会社ノースイ
	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
	松田産業株式会社
	三井物産株式会社
金融業・保険業	株式会社日本政策金融公庫
	日本漁船保険組合
不動産業・物品賃貸業	三信住建株式会社
学術研究、 専門技術サービス業	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
	アクセンチュア株式会社
	いであ株式会社
	株式会社エイト日本技術開発
	株式会社エム・シー・アイ
	株式会社オオスミ
	株式会社サーキュレーション
	サンコーコンサルタント株式会社
	三洋テクノマリン株式会社
	一般社団法人水産土木建設技術センター
	株式会社東京久栄
	株式会社東北新社
	株式会社日産技術コンサルタント
	MIC株式会社
八千代エンジニアリング株式会社	
宿泊業、 飲食サービス業	株式会社雨風太陽
	株式会社ゲシャリーコーヒー
教育・学習支援業	大島商船高等専門学校
	学校法人学習院学習院大学
	山東女子学院
	四川大学
	国立大学法人東京海洋大学
	株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAY
	国立大学法人東北大学
	学校法人大和学園

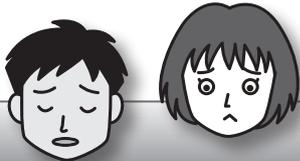
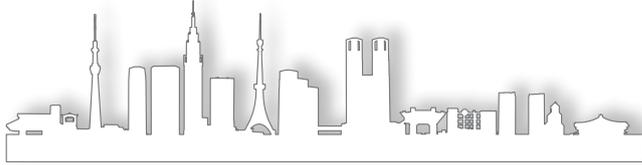
業種	企業名
教育・学習支援業	株式会社シェーンコーポレーション
	株式会社横浜八景島
複合サービス事業	全国農業協同組合連合会
サービス業	株式会社アウトソーシングテクノロジー
	一般財団法人材料科学技術振興財団
	オムロンエキスパートエンジニアリング株式会社
	株式会社サンプラネット
	WDB株式会社 エウレカ社
	公益財団法人東京動物園協会
	公益社団法人日本水産資源保護協会
	株式会社マーキュリー
	株式会社三井E&Sテクニカルリサーチ
	有人宇宙システム株式会社
公務	海上保安庁
	環境省
	国税庁
	国土交通省 航空局・自動車局・海事局
	水産庁
	タイ（水産省）
	農林水産省
	ミャンマー政府水産局
	愛知県庁
	石川県庁
	静岡県庁
	千葉県
	東京都
	富山県庁
長野県庁	
その他公的機関等	独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
	国立研究開発法人水産研究・教育機構
	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	地方独立行政法人北海道立総合研究機構





# 学生相談室からの

# お知らせ



## 学生相談室について

### 学生相談（カウンセリング）

学生生活、進路、対人関係で悩みがある場合は、専門カウンセラーが相談に応じます。

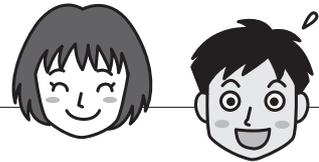
話をしてみることで、あるいは自分の思いを表現してみることで、思いのほか気持ちが楽になったり、次

への展開へのきっかけが見つかったりもするものです。相談内容についての秘密は厳守されています。

なお、曜日が変更となる場合がありますので、HPをご確認ください。

32

### 品川キャンパス



場 所	大学会館1階学生相談室
日 時	詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	藤田先生（女性：臨床心理カウンセラー・月曜日担当） 高橋先生（女性：臨床心理カウンセラー・木曜日担当）
予約方法	メールでご予約ください。 メール s-counseling@o.kaiyodai.ac.jp

### 越中島キャンパス

場 所	越中島会館1階 学生相談室
日 時	水・金曜日 12:10～16:10 詳細については、保健管理センターホームページをご覧ください。
相 談 員	善積先生（女性：臨床心理カウンセラー・水曜日担当） 河崎先生（女性：臨床心理カウンセラー・金曜日担当）
予約方法	保健管理センターでご予約ください。 1. 保健管理センター窓口にて 2. 電 話 03-5245-7357（保健管理センター事務室） 3. メール e-hoken@o.kaiyodai.ac.jp

## 令和6年度 学生支援教員

### 1年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	遠藤 雅人	團 重樹	
	食品生産科学科	萩原 知明	レド マーク アン ソニー ポリヴァ	
	海洋政策文化学科	高橋 周	畠 山大	
海洋工学部	海事システム工学科	久保 信明	田丸 人意	平井友里恵
	海洋電子機械工学科	田中健太郎	関口 美保	小嶋 満夫
	流通情報工学科	黒川 久幸	奥村 保規	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	岡井 公彦	中村 玄	
	海洋資源エネルギー学科	中東 和夫	高橋 圭太	

### 2年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	岩田 繁英	宮本 隆典	
	食品生産科学科	ラベ ペレス イヴァン アントニオ	田中 誠也	
	海洋政策文化学科	大河内 美香	今村 圭介	
海洋工学部	海事システム工学科	小橋 史明	石橋 篤	松本 洋平
	海洋電子機械工学科	桑田 敬司	大島 浩太	地下 大輔
	流通情報工学科	遠藤 伸明	坂井 孝典	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	片野 俊也	呉 海云	
	海洋資源エネルギー学科	上野 公彦	淵田 茂司	

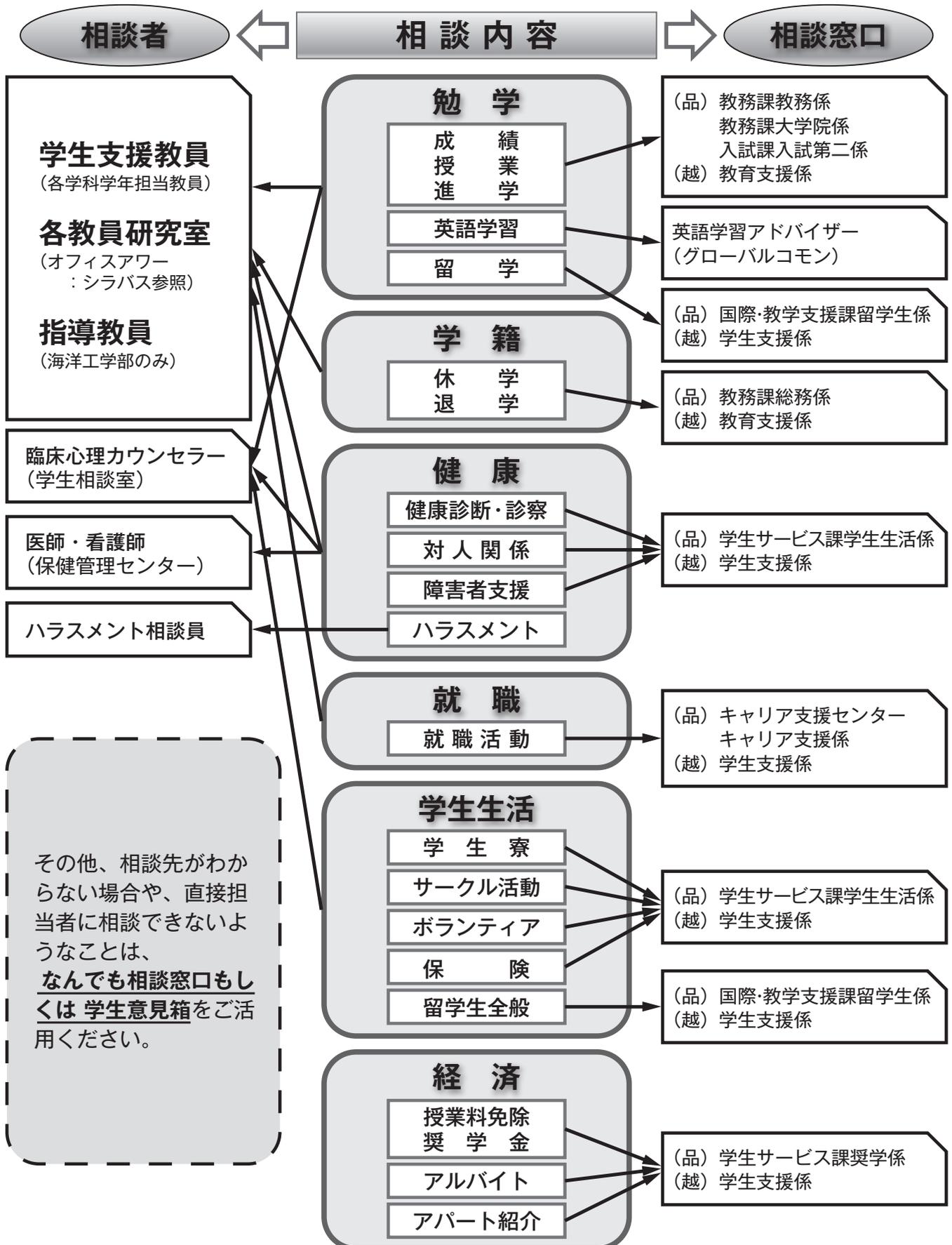
### 3年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	矢澤 良輔	小祝 敬一郎	
	食品生産科学科	渡邊 学	耿 婕 婷	
	海洋政策文化学科	大野 美砂	工藤 貴史	
海洋工学部	海事システム工学科	陶山 貢市	増田 光弘	福田 巖
	海洋電子機械工学科	清水 悦郎	木船 弘康	盛田 元彰
	流通情報工学科	森下 稔	橋本 英樹	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	鈴木 直樹	今 孝悦	
	海洋資源エネルギー学科	稲津 大祐	三島 由夏	

### 4年生

学部	学科	教員氏名		
海洋生命科学部	海洋生物資源学科	近藤 秀裕	加藤 豪司	
	食品生産科学科	小山 寛喜	松本 隆志	
	海洋政策文化学科	中原 尚知	原田 幸子	
海洋工学部	海事システム工学科	近藤 逸人	榎野 純	高木 直之
	海洋電子機械工学科	田原 淳一郎	藤野 俊和	米田 昇平
	流通情報工学科	中川 雄二	関口 良行	
海洋資源環境学部	海洋環境科学科	神谷 充伸	中島 主恵	溝端 浩平
	海洋資源エネルギー学科	内田 圭一	鶴我 佳代子	

# 本学の学生相談体制について



# お知らせ

## 海外派遣プログラムに参加してみませんか？

東京海洋大学では、海洋を巡る国境を越えた地球規模の諸課題の解決に貢献できる、グローバル人材の育成に力を入れており、英語教育や海外派遣プログラムの充実に務めています。

学部1年生から大学院まで、2週間程度のサマープログラムから3か月から1年間の交換留学、また1年以上の長期派遣プログラム（大学院レベルの学位取得プログラム）など、目的や国・地域、期間等に応じた各種海外派遣プログラムを実施しています。

交換留学を考えている方から、留学は考えていないけれど海外に興味はある、まとまった時間が取れる機会に何か挑戦してみたいといった方まで、みなさんの興味や関心に応じて参加が可能です。

各プログラムの概要は以下のとおりです。

### ○海外探検隊

毎年夏と春の約1か月間、東南アジア地域を中心に大学、研究機関や企業での英語によるインターンシップを実施するプログラムです。

### ○交換留学

毎年度、3か月から1年までの期間で世界各国の協定校との交換留学を実施しています。留学先の大学に在籍して現地の学生や各国の留学生と共に学ぶプログラムです。

### ○オケアヌスプラスSTP・IJP・DDP

本学では中韓及びアセアンの6大学と国際協働プログラムを行っており、合同サマープログラム（STP）、単位取得プログラム（IJP）及び学位取得プログラム（DDP）を実施しています。

他にも海外探検隊（指導教員立案型）、JICA・大学連携「海外協力隊」や学部等で実施する独自の海外派遣プログラムがあります。

各プログラムの説明、対象学年、各種奨学金、応募スケジュールやプログラムに参加した先輩の体験談など、詳しい情報を大学ホームページ等に掲載しています。以下のQRコードからアクセスしてください。

東京海洋大学では、2024年度から4学期制、105分授業を実施し、学修環境に合わせて、ギャップタームや長期の夏季休業期間を利用することで、留学やインターンシップ等のプログラムに取り組みやすい環境となりました。

語学や研究はもちろん、多様な価値観の中に身を置くことで自身の世界を拡げることにもつながる海外派遣プログラムにみなさんもぜひ挑戦してみてください。

各プログラムの紹介、問い合わせ先はこちら



留学・海外派遣情報等は、以下のSNSでも発信しています。



## 国立科学博物館および国立美術館の利用について

本学は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ」および「国立美術館キャンパスメンバーズ」に加入しております。

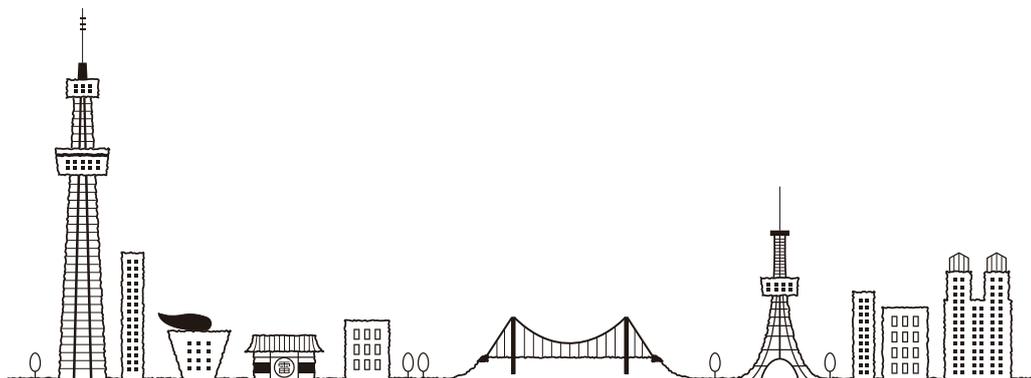
### ◆国立科学博物館 大学パートナーシップ利用可能施設

施設名	住 所
国立科学博物館(上野本館)	東京都台東区上野公園7-20
附属自然教育園	東京都港区白金台5-21-5
筑波実験植物園	茨城県つくば市天久保4-1-1

本学の学生証を提示することで、下記施設の常設展が無料で利用できるほか、特別展・企画展を割引料金で鑑賞できるなどの特典があるので、ぜひご利用ください。

### ◆国立美術館 キャンパスメンバーズ利用可能施設

施設名	住 所
東京国立近代美術館	東京都千代田区北の丸公園3-1
国立西洋美術館	東京都台東区上野公園7-7
国立新美術館	東京都港区六本木7-22-2
国立映画アーカイブ	東京都中央区京橋3-7-6
国立工芸館 (東京国立近代美術館工芸館)	石川県金沢市出羽町3-2



## 東京海洋大学 公式X (旧Twitter) を開設しました

大学の最新ニュース、メディア・イベント情報などを発信しています。  
是非フォローをお願いします。

東京海洋大学 公式X (@tumsat\_official)



# 緊急時連絡システムについて

## (さくら連絡網)

### 1. 緊急時連絡システムとは

本学のすべての学生・教職員と緊急時に連絡をとるためのメール・LINE・アプリによる配信システムです。

- ①台風・地震等の自然災害やインフルエンザ流行等による**緊急の休講等**を連絡します。
- ②**災害時の安否確認**や健康状態の収集手段としても使用します。
- ③その他、掲示板で告知するお知らせの中で緊急性があり重要と判断するお知らせ等の連絡をします。

### 2. 登録方法

携帯電話・スマートフォン等の携帯端末や自宅PC等の**複数のメールアドレス（4件まで）、LINE、アプリ**も登録できます。**必ず登録してください。**

### 3. 登録手順

(1) さくら連絡網登録用QRコードまたはURLにアクセスします。

QRコードはこちら →



URLはこちら → <http://390390.jp>

URLを直接入力した場合は、  
認証コードの入力を求められます。  
認証コード：204 441 4

(2) 連絡を受け取りたい方法を**【LINE】**、**【アプリ】**、**【メール】**から選びます。(※ 3種類とも登録できます。)

(3) **【LINE】を選んだ場合**

- ①LINEの友だち追加ボタンから登録（追加）します。（トークから登録開始）
- ②認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

**【アプリ】を選んだ場合**

- ①さくら連絡網のアプリをインストールします。
- ②アプリを起動して、認証コード：204 441 4 を入力します。
- ③IDとパスコードを入力します。

**【メール】を選んだ場合**

- ①登録用メール送信画面に切り替わるので、そのまま送信します。(※メール本文は変更しないでください。)
- ②さくら連絡網からメールで登録用のURLが届きます。
- ③URLにアクセスして、登録画面からIDとパスコードを入力します。

(4) メニュー画面（以下、マイページといいます）が表示されたら登録完了です。

### 4. メール受信時の注意

- ①緊急時連絡システムは、メール、LINE、を受信者が開封したかどうかの確認ができるシステムです。  
また、アンケート形式で安否確認を行う場合もあります。  
受信した場合は、必ず開封し、内容を確認した後、指示に従って回答して下さい。
- ②登録用メールが届かない場合は、ドメイン指定受信に「school.i.net」を追加登録して下さい。
- ③マイページ (<https://390390.jp/parent/menu>) をブックマーク（スマートフォンの場合はホーム画面に追加）しておくと、後日、メールアドレスの変更等を行う際に便利です。また、簡単ログイン設定をしておくと、次回からワンクリックでマイページにアクセスできます。
- ④配信先の変更を希望する場合やアドレス自体を変更した場合は、マイページのメニューの「連絡先を追加」から新し

い連絡先を追加するとともに、「登録情報確認」から古い連絡先を削除して下さい。

- ⑤ログインID、パスコードは、各自で管理して下さい。（入学時に配布します。）
- ⑥パスコードを紛失した場合は、以下の問合せ先へご連絡下さい。
- ⑦緊急時連絡システムは、大学からの送信専用アドレスです。上記のアンケート形式での回答以外は、大学側では内容の確認ができませんのでご注意ください。

### 5. 個人情報の取り扱いに関して

緊急時連絡システムにご登録いただいたメールアドレス等、個人情報に関しては本学個人情報保護規則に則り厳正な取扱いをいたします。また、上記の目的に限り使用し、他の目的で使用することはありません。

# EMERGENCY CONTACT SYSTEM

“さくら連絡網 (SAKURA RENRAKUMOU)”

## What is the Emergency Contact System?

The purpose of this system is to contact students, professors and university staff members by email in the following cases:

1. to inform them when classes are suddenly canceled due to a natural disaster (typhoon, earthquake), a flu epidemic or other reasons
2. to gather information about the safety and health of university members after a disaster
3. to disseminate urgent and important information displayed on the university's notice boards

## How to register

Please register multiple mail addresses (up to Four) or LINE or other apps from mobile terminals such as mobile phones, smart phones, and home PCs in order to confirm sure and prompt correspondence from the university in an emergency. Please be sure to register.

## Registration process

1. Access the QR code or URL for Sakura Renrakumou Registration.

QR code



URL

<http://390390.jp>

\* If you enter the URL directory, “authentication code” will be required.

authentication code: 204 441 4

2. Choose the method by which you would like to receive information from the university: “LINE,” “app” or “Email.”

\* You can also register all three.

3. **If you choose “LINE,”**

- ① register (add) from LINE's Add Friends button. (i.e., start from the “Talk” page).
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

**If you choose “app,”**

- ① Install the Sakura Renrakumou app.
- ② input Authentication code: 204 441 4.
- ③ input ID and Passcode.

**If you choose “Email,”**

- ① the page moves to the sending registration mail screen; please send an email.  
\*Please do not change the body of the mail.
- ② receive the registration email from Sakura Renrakumou.
- ③ access the URL and enter the ID and passcode on the registration screen.

4. Registration is completed when the menu screen is displayed.

## Notes

- The system is configured to detect whether recipients have accessed their messages. It is also used to gather information about the safety of the registered community through questionnaires. When you receive it, please ensure that you open the message and reply according to the instructions.
- If you fail to receive the registration form after sending the registration email, please check your mobile phone's spam filter settings. Add the domain name school-i.net to your list of authorized contacts.
- Add the system login page (<https://390390.jp/parent/login>) to your bookmarks to easily access your email and passcode settings.
- Manage your ID and passcode carefully, and make sure that you change your passcode after logging in for the first time. (ID and passcode is distributed at the time of enrollment)
- To change your delivery settings, register a new email address.
- If you forget your passcode, contact the responsible section using the contact details below.
- The system is a send-only address. The university cannot receive emails sent to this address.

## Privacy policy

Email addresses and other personal information registered on the system are strictly protected according to the university's privacy policy. The system is used exclusively for the purposes stated above.

## Contact

General Affairs Department, General Affairs Division  
Email: [so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp](mailto:so-soumu@o.kaiyodai.ac.jp) Tel: 03-5463-0354

**重要!**

## ネットワーク障害防止のための注意事項

キャンパス内で、ネットワーク停止が頻発しています。  
研究室内の配線の点検をお願いします。

### ループ状にケーブルを接続しない

ケーブルの両端をネットワーク機器に接続すると、出口のない通信パケットがネットワーク内で増大し、フロア全体や建屋全体が通信不能になるなどの重大な障害が引き起こされます。利用しないケーブルは機器から取り外してください。



### 古いハブ、壊れた LAN ケーブルを使用しない

古くなったプラスチック製のハブ(HUB、Switch)は、熱暴走等でフロア全体の通信障害の原因となることがあります。壊れた配線やコネクタの損傷も通信トラブルの原因になる場合があります。導入後の年数や破損状況を確認し、適宜、買い替えましょう。

→ **金属製ケースのハブがオススメ**です。放熱に優れ、安定して長く使えます。  
詳しい型番などは下記窓口にお問い合わせください。

### 研究室内のルータの設定・接続を正しく行う

研究室で個別に設置したブロードバンドルータ、無線 LAN ルータの DHCP 機能の誤設定により、フロアや建屋全体での通信障害につながる場合があります。ネットワークケーブルが正しく接続されているかを点検してください。

→ **「WAN」「LAN」を間違えると障害が発生します!**

古い OA タップの使用、定格電流を超えた使用や、タコ足配線は**火災の原因になります**ので、注意してください。



**注意**

## PC は最新の状態にアップデートしてください

OS の脆弱性を狙ったウイルスによる情報漏えい被害が世界的に報告されています。利用している OS やウイルス対策ソフトを常に最新の状態を保つようにしてください。私有のノート PC でも、大学配布のウイルス対策ソフトをインストールすることができますので、是非活用してください。

**Windows XP、Vista、7、8、8.1、Mac OSX、macOS の古いバージョンは、メーカーサポートが終了しています。**これらの OS をお使いの場合は速やかに最新の OS に更新してください。  
現在利用可能な OS は、Windows 11、Windows 10、最新バージョンの macOS です。

## PC 等を廃棄する際はデータの消去をしてください

廃棄するパソコン等からの情報流出を防ぐため、ハードディスク、SSD 等の記録媒体の破壊装置、消去装置を利用してください。下記窓口にお持ちください。

## 情報システムに関する全学問合せ窓口

メール ict-support@o.kaiyodai.ac.jp 内線 0446

附属図書館(品川) 1階事務室内 (担当: 全学 ICT サポート)

Important!



## Precautions for Preventing Network Failure

Network outages occur frequently on campus.  
Check the wiring inside the research office.

**Do not connect the cable in a loop (as in the picture.)**

Connecting both ends of a cable to network equipment can cause serious obstacles. For example, communication packets without an exit increase within the network, making the entire floor or building unreachable. Remove unused cables from the equipment.



**Do not use old hubs or broken LAN cables**

An old plastic hub (HUB, Switch) may cause communication failure of the entire floor due to thermal runaway. Damaged wires and connector damage may also cause communication trouble. Check the years of use and state of damage and replace as necessary.

→ A hub with a metal case is recommended. It is stable, long-lasting, and provides excellent heat dissipation. For a detailed model number, contact the Inquiry Center given at the bottom of this page.

**Set up and connect the router in the office correctly.**

Misconfiguration of the DHCP function on the broadband router and wireless LAN router individually installed in the offices may lead to communication failure on the floor or the entire building. Check that the network cable is properly connected.

→If "WAN" and "LAN" are confused, network failure will result! Use of old OA taps, use exceeding the rated current, and use of power strips may cause fire. Beware.



Caution

## Optimize your PC with the latest updates



Information leakage due to viruses targeting OS vulnerabilities is reported worldwide. Make sure that the operating system and antivirus software you are using are kept up to date. Even on a private notebook PC, you can install the university-distributed antivirus software. Take advantage of it by all means. Manufacturer support has ended for Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1 Mac OS X, and old versions of mac OS. Update to the latest OS promptly if using these OS. The currently available OS are Windows 11, Windows 10, and the latest version of mac OS.

**Delete data when discarding a PC, etc.**

To prevent information leakage from discarded personal computers, etc., use data destruction and erasure devices for recording media such as hard disks and SSDs. Please bring them to the following counter:

### **Information System Inquiry Center**

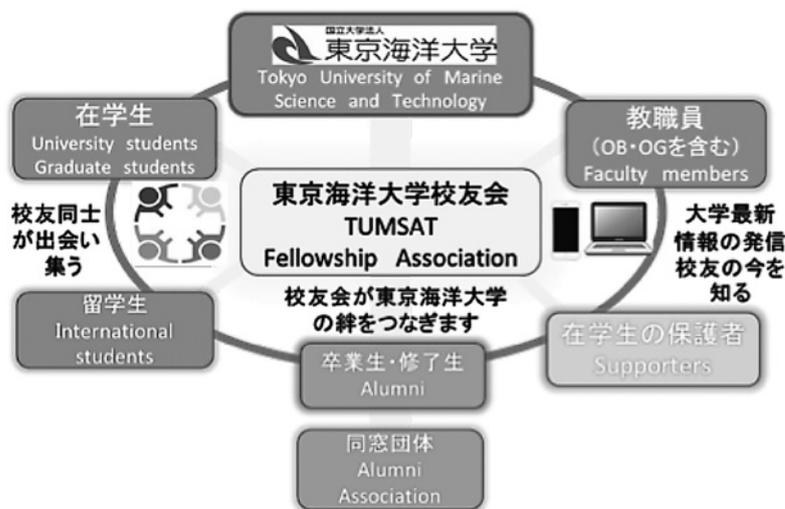
Email [ict-support@o.kaiyodai.ac.jp](mailto:ict-support@o.kaiyodai.ac.jp) Extension 0446

TUMSAT Library (Shinagawa) Office, first floor

# 東京海洋大学校友会のご案内

## Q1.「東京海洋大学校友会」とは何ですか？

東京海洋大学は、2017年4月の新学部「海洋資源環境学部」設立を機に国内における唯一の海洋系総合大学として体制を強固にしました。今後、社会全体に強くその存在をアピールしていくため、2018年4月、全学的に「校友」同士の交流を活発化させ、本学の発展に寄与することを目的として、「東京海洋大学校友会」を発足しました。



## Q2.「校友」とは誰ですか？

東京海洋大学および東京水産大学、東京商船大学等前身校の卒業生、在學生、在學生・卒業生の保護者、教職員の皆さまです。ホームカミングデーなど「校友」限定イベント等を企画し、「校友会ホームページ」や「校友会メルマガ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

## Q3.「校友会ホームページ」とは何ですか？アカウントはいつ貰えますか？

SNS機能、校友会メルマガ、公認課外活動団体ポータルサイトや会員限定動画サイトなど様々な機能を備えた「校友」限定ホームページです。「校友」の皆さまには個別アカウントを配布しております。(登録及び会費は無料です。)



海洋大の「今」が分かるコンテンツや情報を発信していきます。試行的にInstagramも開始しました。実際にアクセスしてみてください。



(校友会ホームページ) QRコード

### 【アカウント取得方法】

- 新入生の皆様：ご入学後、大学から付与されるメールアドレス（～@edu.kaiyodai.ac.jp）宛に校友個人のID・パスワードを配布しています。一度、アクセスしてみてください。
- 保護者の方・卒業生の方：校友会ホームページの「新規登録」ボタンから申請をお願いいたします。校友会事務局で内容を確認後、ID・パスワードを送付いたしますので、分かる箇所は可能な限りご入力をお願いいたします。（在籍確認の関係上、申請いただいた後、少々お時間をいただいでの対応となることがあります。）

また、本学卒業生を支援する同窓組織として「楽水会」「海洋会」があります。本学卒業生との強固なネットワークを築いておりますので、ぜひご加入ください。

楽水会：<http://rakusui.or.jp/>  
海洋会：<http://www.kaiyo-kai.com/>

### 校友会に関する問合せ先：

東京海洋大学校友会事務局  
電話番号：03-5463-4014  
メールアドレス：[koyukai@o.kaiyodai.ac.jp](mailto:koyukai@o.kaiyodai.ac.jp)

# 掲 示 版

## SNS、ツイッター、ブログ等の利用に関する注意事項

Facebookやツイッターに代表されるSNS（ソーシャルネットワークサービス）、あるいはブログなどを利用してはいると思いますが、インターネット上に書き込んだ内容は全世界に公開されることとなります。

転載・拡散された場合等には、長期間ネット上に残り、何らかのきっかけで問題となることがあります。SNSなどインターネットへの書き込み、写真や映像の掲載・投稿には十分注意し、個人情報は書き込まないようにしてください。

何か困ったことがあれば、周りの人に相談するようにしてください。SNSの公式サイトヘルプや問合せ窓口なども参考にしてください。

## 闇バイトに注意

SNSに投稿されたアルバイト情報の中には、犯罪の手伝いをさせられるなど、危険なものも潜んでいます。怪しげな情報にだまされないよう注意してください。「#裏バイト」「#高額バイト」等のハッシュタグがいっぱい並ぶ投稿は、誰がどう見ても怪しく、雇用主や仕事内容の記載がなければ無視し、関心を持つのは危険です。好条件をエサに接触を待つ、勧誘目的で友達申請をする等、悪意の仕掛けはさまざまです。友人・知人が発信した情報でも、また聞きや再投稿の可能性があります。安易な連絡は絶対にやめてください。詐欺の受け子等は使い捨て、見つかって逮捕されることや、犯人グループとトラブルになるケースもあります。手っ取り早く稼ぎたい、スリルを味わいたいという気持ちで罪を犯すことのないよう十分注意してください。

## 薬物の乱用について

薬物の乱用は、本人の精神と身体に危害を及ぼします。また、友人や家族関係の崩壊にもつながるなど、本人だけでなく、社会全体に計り知れない影響をもたらします。このため、薬物の所持や使用は法律で禁止されており、違反者は厳罰に処せられます。

薬物に対して安易な気持ちや一時の興味で接することのないよう十分注意してください。

## 盗難に注意

下記の事項を守り、自己管理を徹底してください。

- ・貴重品は、できる限り大学には持参しないでください。
- ・やむを得ず所持する場合は、各自でロッカーに鍵をかけて管理してください。
- ・鍵は安易に解錠出来ないもの（ダイヤル式など）を選んでください。

## 悪質商法等に注意

消費者契約等に関するトラブルが増加しています。うまい話には要注意です。少しでも疑問を感じたら契約しないでください。また、身に覚えのない請求などは支払わないでください。

訪問販売や電話勧誘販売など、特定の取引の場合に、一定期間内ならば理由を問わず解約できるクーリング・オフ制度があります。もしも被害に遭ってしまったときは消費生活センターに相談してください。

## カルト団体等の偽装勧誘に注意

キャンパス内において、自らが宗教団体であることを名乗ることなく、サークル活動や自主ゼミと称し、特定の反社会的なカルト団体に引き込まうとする「偽装勧誘」の事例があります。

声を掛けられておかしいなと感じた場合はキッパリと断り、安易に電話番号、メールアドレス等を交換しないでください。また、不審な団体と感じたとき、あるいは勧誘活動を受けた場合は、学生生活係、学生支援係まで知らせてください。

## 飲酒についての注意事項

**(1) 未成年者の飲酒は法律で禁止されています。**

アルコールには麻酔作用があるので、未成年者が飲み方や適量もわからず無理に飲むと、急性アルコール中毒を起こしやすいといわれています。もし、誰かに勧められても、きちんと断ることが大切です。

**(2) 飲酒の強要は絶対にしないこと。**

20歳未満やお酒に弱い方にお酒を強要することは絶対にしないでください。

**(3) 飲酒運転は厳禁です。**

「道路交通法」では飲酒運転のほか、飲酒者への車両の提供、運転者への酒類の提供、飲酒運転の車への同乗についても禁止されており、厳しい罰則が課せられます。

